

目標の指標化			
5歳児	低学年	中学年	高学年
<p>自分の思ったことや考えたことを友だちに伝えたり、友だちの思いや考えを受け入れたりと関わったりする。(※1)</p> <p>絵本や物語を興味・関心をもち、楽しむ。</p> <p>遊びや生活を通して文字や数詞・算術に興味をもつ。</p> <p>元氣よくあそび・短歌をしたり、楽譜に「おもしろい」「かっこいい」を言ったりする。</p> <p>友だちと積極的にかかわりながら、喜びや楽しみを共有する。</p> <p>友だちや異年齢児に楽しみや思いやりの気持ちをもち、</p> <p>共通の目的に向かって、友だちと一緒に作業や遊びをしようとする気持ちをもち、</p> <p>友だちとの生活や遊びの中で自分の大切さに気づき、守ろうとする。</p> <p>おもしろいことや楽しんでいることに気づき、考えながら行動する。</p> <p>身近な動物や植物に興味をもつて、生き生きとした姿に気づき、いたわったり大切にしたりする。(※1に配慮)</p> <p>自然の中で遊んで生活し、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気づく。</p> <p>(※1に配慮)</p> <p>動物や植物の成長の様子を身に付ける。</p> <p>一日3回しっかりと食事をとる。</p> <p>安全な生活や遊び方を学び、守って行動する。</p> <p>自分の目標に向かって努力し、積極的に様々な挑戦をする。</p>	<p>人の話を最後まで聞く。</p> <p>正しい姿勢、口形で最後まで話す。</p> <p>読者物や絵本を楽しみ、</p> <p>助け合って学習する。</p> <p>工夫して学習する。</p> <p>ものごとのわけを考える。</p> <p>元氣よくあそび・返事を返す。</p> <p>「～です、ます」「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言う。</p> <p>友だちや仲間・人に、親切にする。</p> <p>友だちの思いを受け入れ、失敗を許す。</p> <p>友だちと協力しあって、活動する。</p> <p>自分のことは自分です。</p> <p>のびのびと行動する。</p> <p>うそをいわない。</p> <p>家族に親しみ、</p> <p>自然に親しみ、</p> <p>美しいものを大切にすること。</p> <p>動物や植物の成長の様子を身に付ける。</p> <p>一日3回しっかりと食事をとる。</p> <p>安全な生活や遊び方を学び、守って行動する。</p> <p>自分の目標に向かって努力し、積極的に様々な挑戦をする。</p>	<p>人の話を最後まで聞きながら聞く。</p> <p>内容や整理し、分かりやすく話す。</p> <p>要点をつかみ、読者の感情を伝える。</p> <p>協力して学習する。</p> <p>新しい考え方や方法を考え出す。</p> <p>常に研究態度をもつように努める。</p> <p>相手の態度を見て、はつきりあそび・返事を返す。</p> <p>「～です、ます」「ありがとう」「ごめんなさい」「失礼します」をはつきり言う。</p> <p>相手のことを思いやり、親切にする。</p> <p>相手の立場を理解する。</p> <p>働くことの大切さや喜びを味わい、率直に活動する。</p> <p>自分の責任を果たす。</p> <p>責任ある行動をする。</p> <p>正しいと思うことは、真意をもって行う。</p> <p>郷土を愛する。</p> <p>自然にやさしい心で接する。</p> <p>清らかな心で環境を大切にする。</p> <p>自分で動物や植物に留意する。</p> <p>何でも食べてみることを楽しむ。</p> <p>安全に遊ぶ。</p> <p>適切な運動に親しみ、</p> <p>苦しい事も辛くも乗り越えようとする。</p>	<p>自分の考えをはつきりさ、人の話を聞く。</p> <p>相手の事を考え、節度を立てて話す。</p> <p>読者の習慣や感情を察し、心情を豊かにする。</p> <p>個人学習と協力学習の両方を切り開く。</p> <p>積極的に新しい分野を切り開く。</p> <p>真理を探究し、広い視野で判断する。</p> <p>自分から進んで、はつきりあそび・返事を返す。</p> <p>いろいろな言葉づかいや、相手の気持ちや考えを考へてやさしく言葉づかいをする。</p> <p>だれに対しても温かく接する。</p> <p>広い心で人の立場を思いやる。</p> <p>創意工夫し、協力しながら率直な活動を展開する。</p> <p>役割と義務の関係を考える。</p> <p>自由と責任をわきまをえる。</p> <p>勇気をもって正しい行動をする。</p> <p>日本を愛する。</p> <p>自然を愛護する。</p> <p>清らかな心で環境を大切にする。</p> <p>自他の健康や安全に留意する。</p> <p>栄養を考え何でも食べてみることを楽しむ。</p> <p>生命尊重に心を掛ける。</p> <p>積極的に身体を鍛錬する。</p> <p>障害や失敗にもくじけずやり続ける。</p>
<p>学力の向上</p>			
<p>規律ある態度の育成</p>			
<p>体力の向上</p>			

知的な好奇心  
言語  
コミュニケーション

徳  
思いやり・言葉遣い  
不とう不屈  
健康安全  
早寝早起き  
朝ごはん

学びの接続

育ちの接続

幼・保・小連携による心豊かに生きる子どもの育成

幼稚園教育要領・保育所保育指針と小学校学習指導要領のつながり「人間関係」

	5 歳児 (幼稚園)	6 歳児 (保育所)	第 1 学年及び第 2 学年
ね	<p><b>人間関係</b> 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人とかわる力を養う。</p> <p>(1) 幼稚園生活を楽しく、自分の力で行動することの充実感を味わう。</p> <p>(2) 進んで身近な人とかわかり、愛情や信頼感をもつ。</p> <p>(3) 社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。</p>	<p>進んで身近な人と関わり、信頼感や愛情を持って生活する。</p> <p>(2) 身近な人との関わりの中で、人の立場を理解して行動し、進んで集団での活動に参加する。</p> <p>(3) 進んで異年齢の子どもたちと関わり、生活や遊びなどで役割を分担する楽しさを味わう。</p>	<p>自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかわりに関心をもち、それらに愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、適切に行動できるようにする。(生活科)</p> <p>学校の教育活動全体を通じて、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うこととする。(道徳)</p> <p>望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。(特別活動)</p>
ら	<p>(1) 先生や友達と共に過ごすことの喜びを味わう。</p> <p>(2) 自分で考え、自分で行動する。</p> <p>(3) 自分でできることは自分です。</p> <p>(4) 友達と積極的ににかかわりながら喜びや悲しみを共感し合う。</p> <p>(5) 自分の思っていることを相手に伝え、相手の思っていることに気付く。</p> <p>(6) 友達の下さに気付き、一緒に行動する楽しさを味わう。</p> <p>(7) 友達と一緒に物事をやり遂げようとする気持ちをもつ。</p> <p>(8) よいことや悪いことがあることに気がつき、考えながら行動する。</p> <p>(9) 友達のかかわりを深め、思いやりをもつ。</p> <p>(10) 友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気付き、守ろうとする。</p> <p>(11) 共同の遊具や用具を大切にし、みんなで使う。</p>	<p>(1) 保育士や友達などとの安定した関係の中で、意欲的に生活や遊びを楽しむ。</p> <p>(2) 集団遊びの楽しさが分かり、きまりを作ったり、それを守ったりして遊ぶ。</p> <p>(3) 進んで自分の意見、立場を主張したり、一方で相手の意見を受け入れたりする。</p> <p>(4) 友達との生活や遊びの中できまりがあることの大切さに気づく。</p> <p>(5) 自分で目標を決め、それに向かって友達と協力してやり遂げようとする。</p> <p>(6) 友達との関わりの中でよいことや悪いことがあることが分かり、判断して行動する。</p> <p>(7) 共同の遊具や用具を大切にし、譲り合って使う。</p> <p>(8) 自分より年齢の低い子どもにも、自ら進んで声かけをして誘い、いたわって遊ぶ。</p> <p>(9) 外国の人など自分とは異なる文化をもった様々な人に関心をもち、知ろうとするようになる。</p>	<p>学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々や友達のことや分かり、楽しく安心して遊びや生活ができるようにするとともに、通学路の様子などに関心をもち、安全な登下校ができるようにする。</p> <p>家庭生活を支えている家族のことや自分で行うことなどについて考え、自分の役割を積極的に果たすとともに、規則正しく健康に気を付けて生活することができるようにする。</p> <p>自分たちの住む地域の人々や様々な場所とかわわっていることが分かり、それらに親しみをもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。</p> <p>公共物や公共施設はみんなのものであることやそれを支えている人々がいることが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする。</p> <p>身の回りの自然を利用したり、身近にある物を使った遊びなどをして遊ぶ楽しさを味わう。</p> <p>多くの人々の支えにより自分が大きくなってきたこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、これまでの生活や成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもち、自分も、これからの成長への願いをもって、意欲的に生活することができるようにする。</p>
内			
容			

# 幼稚園教育要領・保育所保育指針と小学校学習指導要領のつながり「伝え合う力」

5 歳児 (幼稚園)	6 歳児 (保育所)	第1 学年及び第2 学年
<p><b>言葉</b></p> <p>経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。</p> <p>(1) 自分の気持ちや言葉を言葉で表現する楽しさを味わう。</p> <p>(2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。</p> <p>(3) 日常生活に必要な言葉が分かるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせる。</p>	<p>自分の経験したこと、考えたことなどを適切な言葉で表現し、相手と伝え合う楽しさを味わう。</p> <p>(2) 人と話し合うことや、身近な文字に関心を深め、読んだりすることの楽しさを味わう。</p> <p>(3) 絵本や童話、視聴覚教材などを見たり、聞いたりして様々なイメージを広げるとともに、想像することの楽しさを味わう。</p>	<p>(1) 相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事なことを落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。</p> <p>(2) 経験したことや想像したことなどについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。</p> <p>(3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。</p>
<p><b>ね</b></p>	<p>学 年 の 目 標</p>	<p>ア 知らせたい事を選び、事柄の順序を考えながら、相手に分かるように話す。</p> <p>イ 大事な事を落とさないようにしながら、興味をもつて聞くこと。</p> <p>ウ 身近な事柄について、話題に沿って、話し合うこと。</p>
<p><b>ら</b></p>	<p>読 書</p>	<p>ア 相手や目的を考えながら、書くこと。</p> <p>イ 書こうとする題材に必要な事柄を集めること。</p> <p>ウ 自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考えること。</p> <p>エ 事柄の順序を考えながら、語と語や文と文の続き方に注意して書くこと。</p> <p>オ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いやなどに注意すること。</p>
<p><b>い</b></p>	<p>読 書</p>	<p>ア 易しい読み物に興味をもち、読むこと。</p> <p>イ 時間的な順序、事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。</p> <p>ウ 場面の様子などについて、想像を広げながら読むこと。</p> <p>エ 語や文としてのまとまりや内容、響きなどについて考えながら声に出して読むこと。</p>
<p><b>内 容</b></p>	<p>(1) 日常のあいさつ、伝言、質問、応答、報告が上手になる。</p> <p>(2) 身近な事物や事象について話したり、日常生活に必要な言葉を適切に使う。</p> <p>(3) みんなで共通の話題について話し合うことを楽しむ。</p> <p>(4) 話し相手や場面の違いにより、使う言葉や話し方が違うことに気づく。</p> <p>(5) 人の話を注意して聞き、相手に分かるように話す。</p> <p>(6) 生活の中で必要な言葉が分かり、使う。</p> <p>(7) 童話や詩などの中の言葉の面白さ、美しさに気づき、自ら使って楽しむ。</p> <p>(8) 絵本や物語などに親しみ、内容に興味を持ち、様々な想像して楽しむ。</p> <p>(10) 身近にある文字や記号などに興味や関心を持ち、それを使おうとする。</p>	<p>(1) 日常のあいさつ、考えたことなどを適切な言葉で表現し、相手と伝え合う楽しさを味わう。</p> <p>(2) 人と話し合うことや、身近な文字に関心を深め、読んだりすることの楽しさを味わう。</p> <p>(3) 絵本や童話、視聴覚教材などを見たり、聞いたりして様々なイメージを広げるとともに、想像することの楽しさを味わう。</p>

## 幼稚園の5歳児の指導内容から関連する小学校教科

月	ねらい	指導内容	教科
4月	○年長になった喜びと自覚をもち、新しい生活に必要な決まりを守る。 ○友達と一緒に好きな遊びを十分楽しむ。 ○身近な春の自然に触れて遊ぶ。	・年少児にしてあげられることを考え、親しみをもって接する。	道徳
		・新しい生活の場を整えたり、決まりを話し合ったりする。	道徳
		・春の草花遊びや虫探しに興味をもち、友達と一緒に楽しむ。	生活・理科
		・自分の思っていることを伝えたり、友達の考えを聞いたりする。	国語
5月	○戸外で思い切り体を動かして遊びながら、友達とのかわりを深める。 ○身近な動植物に興味や関心をもち触れて遊ぶ。	・戸外で遊びながら、砂・土・水の感触を十分に味わい、試したり、工夫したりして楽しむ。	生活・理科・体育
		・種まきや苗植えなどの栽培を通して植物の生長に興味をもち。	生活・理科
		・自分の考えを相手にわかるように話したり、友達の話を聞き理解しようとしたりする。	国語
		・戸外で友達と一緒に、のびのびと体を動かす心地良さを味わう。	体育
		・園庭の草花や新緑の変化に気付いたり、気付いたことを話したりする。	生活・理科
		・当番の仕事や身の回りのことを友達と楽しんで行う。	道徳・生活
		・自分の体のしくみや成長に関心をもち。	理科
6月	○気の合う友達と想いを伝え合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。 ○梅雨期の自然事象や動植物に興味や関心をもち、見たり触れたりして遊ぶ。	・歯の大切さを知り、歯の衛生に関心をもち。	学活
		・雨の日の散歩を楽しみながら、雨の降る様子、雲の動き、水滴など気付いたことを伝え合う。	生活・理科
		・小動物に触れたり、よく見たりして発見したことを教師や友達と伝え合う。	生活・理科
		・友達と一緒に曲に合わせて歌ったり踊ったり楽器をならしたりし、いろいろな表現を楽しむ。	音楽
		・感じたことや考えたことをイメージして、いろいろな材料を使って作ったり遊んだりする。	図工
		・自分のイメージや考えを伝えながら、友達と遊びを進める楽しさや共感する楽しさを味わう。	全教科領域
		・約束を守って安全にプール遊びを楽しむ。	体育

7 月	<p>○プールでのいろいろな水遊びに挑戦したり、試したりして楽しむ。</p> <p>○七夕など夏の行事に関心をもち、異年齢児と一緒に集いを楽しむ。</p> <p>○飼育物や栽培物の生長に興味や関心をもち、進んで世話をしたり親しみをもってかかわったりする。</p>	・自分なりの目標をもち、プールでの遊びを楽しむ。	体 育
		・星や空、宇宙などに興味や関心をもちイメージをふくらませる	理 科
		・色や形などに関心をもち、工夫して作ったり飾ったりして七夕の行事に触れる。	図工・生活
		・友達と一緒に歌ったり、楽器を使ったりして音色やリズムを楽しむ。	音 楽
		・生活や遊びを通して、進んで年少児とかかわり楽しく過ごす。	道 徳
		・収穫した野菜を友達と一緒に切ったり、食べたりする喜びを味わう。	家 庭
		・夏野菜の感触やにおい、数や形などに関心をもち。	生活・理科
		・栽培物の生長や変化に興味や関心をもち、世話をしたり収穫したりする。	生活・理科
9 月	<p>○友達と一緒に戸外でいろいろな運動遊びに取り組み、体を動かす心地良さを味わう。</p> <p>○友達と共通の目的をもって考えを出し合いながら遊びを進めていく楽しさを味わう。</p> <p>○身近な草花や虫などに親しみをもってかかわったり触れたりして大切にす。</p>	・夏休みに経験したことを友達の前でわかるように話したり、友達の話も聞いたりする。	国 語
		・共通の目的に向かって友達と力を合わせたり、競い合ったり挑戦したりする。	体 育
		・戸外で体を十分に動かし、いろいろな運動遊びを繰り返し楽しむ。	体 育
		・空や雲の様子の変化や涼しい風などから、季節の移り変わりを感じる。	生活・理科
		・種や実、虫などに興味が深まり、自分で絵本や図鑑を見たり調べたりする。	生活・理科
		・いろいろな国の名前や国旗に親しむ。	道徳・社会
		・友達と一緒にリズムに合わせて踊ったり、体を動かしたりすることを楽しむ。	音楽・体育
・お年寄りや地域の人と一緒に楽しく過ごし、親しみをもつ。	道徳・社会・生活		
10 月	<p>○体を十分に動かし、遊ぶ楽しさを味わいながら、自分なりの目的や課題をもって取り組もうとする。</p> <p>○身近な秋の自然に興味や関心をもち、触れたり扱ったりする中で、気付いたり感じたりした事をいろいろな方法で表現して遊ぶ。</p>	・自分なりの目あてをもって、いろいろな遊びに取り組む。	体 育
		・友達と相談し、ルールを考えたり力を合わせたりして遊びを進める。	体 育
		・運動会を十分に楽しみ、やり遂げた充実感を味わう。	体 育
		・秋の木の実や種を集めたり、遊びに使ったりする。	生活・理科

11月	<p>○秋の自然に触れたり、感じたり、取り入れたりして自然物を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○友達とのつながりを深め協力して遊ぶ中で、共通の目的に向かって遊びを進める。</p>	・木の葉や木の実を種類別に分類したり、遊んだり使ったりして色や形などに興味や関心をもつ。	生活・理科
		・秋の自然に触れ季節の変化やその美しさに気づき、感じたことや考えたことを表現する。	生活・理科
		・遊びの中で文字や数、量に興味・関心をもつ。	国語・算数
		・友達と考えを出し合い、共通の目的に向かって協力して実現する喜びを味わう。	全教科領域
		・自分達の身の回りで働いている人々がいることを知り、感謝の気持ちをもつ。	生活・社会
		・絵本やお話の世界に親しみ、イメージを広げて表現することを楽しむ。	国語
12月	<p>○自分達で考えたことを遊びの中で実現したり、表現したりすることを楽しむ。</p> <p>○年末の街の様子や行事などに関心をもつ。</p>	・遊びを通して言葉のやりとりのおもしろさや文字に興味をもつ。	国語
		・友達と遊びに必要なものを考えたり、工夫したりして遊びを進めることを楽しむ。	生活・図工
		・年末の街の様子や行事に関心をもち、遊びに取り入れる。	生活・社会
		・風の冷たさや木々の変化などの冬の自然に興味や関心をもつ。	生活・理科
1月	<p>○お正月の遊びに興味をもち友達や異年齢児と一緒にかわって遊ぶことを楽しむ。</p> <p>○自分なりの目的をもち、十分に力を発揮しながら挑戦したり競ったりして遊びを進めていく。</p> <p>○寒さに負けず、進んで戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</p>	・冬休みに経験したことを友達の前でわかるように話したり、友達の話に関心をもち聞いたりする。	国語
		・身近な人と新年のあいさつを交わす。	道徳・学活
		・お正月遊びに興味をもち、友達と誘い合って一緒に楽しむ。	生活
		・お正月の遊びやゲームなどの遊び方を友達同士で考えて進めたり、年少児に教えたりして一緒に遊ぶことを楽しむ。	生活
		・数量、図形、文字などへの関心を深めたり遊びに使ったりする。	算数・国語
		・地域の人と交流し、伝承遊びを楽しむ。	生活・社会
		・お話の世界に親しみ、気の合う友達同士でイメージを広げて遊ぶ。	国語
		・寒さに負けず、友達と一緒に体を動かして遊ぶ。	体育
・自分の目的に向かって繰り返し取り組み、できた満足感を味わう。	全教科領域		

2 月	<p>○身近な冬の自然事象に興味や関心をもち、見たり試したりして遊ぶ。</p> <p>○伝承行事に関心をもち、進んで参加し楽しむ。</p> <p>○友達と協力して遊びを進めイメージを共有したり、表現したりすることを楽しむ。</p>	・霜柱や氷などの冬の自然事象に興味をもったり不思議さを感じたりする。	生活・理科
		・節分の行事に期待をもって参加し、自分の年齢や成長を意識する。	生活・社会
		・友達と工夫したり協力したりしながら劇遊びを進めていき、表現したり作り上げたりする喜びを味わう。	国語
		・小学校生活を体験し入学への期待をもつ。	生活科
3 月	<p>○友達存在を認めながら遊びや生活を積極的に進めていき充実感を味わう。</p> <p>○修了の喜びと入学への期待をもち、自信をもって行動する。</p>	・時刻や時間などを意識し、見通しをもって園生活や遊びを自分で進めていく。	全教科領域
		・一緒に過ごした友達や身近な人々への感謝の気持ちをもつ。	道徳
		・作品や持ち物の整理をしたり、生活の場をきれいにしたりして修了を楽しみに待つ。	学活
		・日差しや風の暖かさ、草木の芽吹きなど季節の変化に気づき春の訪れを感じながら生活する。	生活・理科
		・園生活を振り返り、幼稚園の思い出を話し合う。	生活
		・年少児に親しみや思いやりの気持ちをもって接する。	道徳

**保育所の5歳児の指導(遊び)内容から関連する小学校教科**

月	ねらい	指導内容	教科
4月	・年長児になった喜びを味わい 自覚をもって遊びや生活する	・楽しく食事をしながら、苦手なものにも挑戦する	学活
		・保育者や友達と好きな遊びを楽しむ	生活・体育
		・友達と当番活動について話し合い、進んで取り組む うとする	道徳・学活
		・春の自然に興味を持ち、遊びに取り入れて楽しむ	生活・理科
		・考えたり、経験したことを話す	国語
		・リズム 歌を楽しむ	音楽
5月	・遠足に楽しく参加する  ・戸外で春の自然や友達とふれ 合いながらのびのびと過ごす	・健康な生活の仕方が分かり、身の回りのここをすす んで行う	学活
		・戸外でのびのび体を動かして遊ぶ	体育
		・保育者や友達とかかわりをもち、一緒に遊ぶことを 楽しむ	生活・体育
		・異年齢児とのかかわりをもち、親しみを広げる	道徳
		・動植物の世話をしたり、観察したりする	生活・理科
		・造形活動を楽しむ	図工
6月	・夏まつりに向け、楽しみながら 製作・練習をする  ・身近な自然・動植物に興味・ 関心を持ち関わる	・すすんで衣服の調節・手洗いうがい・水分補給をする	学活
		・畑作りを通して、野菜に興味持ち、楽しく食事する	生活・理科・家庭
		・絵本や紙芝居・童話に親しみ、想像を膨らませる	国語
		・自分の思いや考えを友達に伝えたり、友達の考え を聞いたりする	国語
		・様々な素材を使って製作を楽しむ	図工
		・友達と一緒に歌ったり、踊ったり、太鼓を叩いたり して楽しむ	音楽



7月	・砂・泥・水遊びを十分楽しむ  ・夏祭りを楽しみ、楽しい思い出になるようにする	・汗をかいたら着替えたり水分補給、帽子をかぶる等自分でしようとする	学活
		・プールの約束を守り、水遊びを楽しむ	体育
		・行事を通して、地域の人との交流を楽しみ、親しみを持つ	道徳
		・夏野菜の収穫や世話を楽しくする	生活・理科
		・太鼓の練習を楽しむ	音楽
8月	・友達と夏の遊びを楽しむなかで達成感や満足感をあじわう	・汗をかいたら着替えたり水分補給、帽子をかぶる等自分でしようとする	学活
		・プール・水遊びなど、夏の遊びを楽しむ	体育
		・自分の思いを主張し、ぶつかり合いながら友達の思いに気付く	道徳
		・かぶと虫やせみ・チョウ等身近な昆虫に触れ、遊び・世話をする	生活・理科
		・自分の思いや意見を言葉で表す	国語
		・リズム 歌を楽しむ	音楽
9月	・運動遊びに意欲的に取り組み、運動会への期待をもつ	・運動用具(鉄棒・跳び箱・平均台)を安全に使い、全身を使って遊ぶ	体育
		・ルールを守りながら集団遊びを楽しむ	全教科領域
		・年長児としての自覚を持ち、友達と一緒に当番活動をする	道徳・学活
		・経験したことを友達の前で話したり、聞いたりする	国語
		・夏から秋への自然の変化に気づく	生活・理科
		・歌ったり、踊ったりしながら、リズムを楽しむ	音楽

10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会に楽しく参加し、やり遂げた達成感をあじわう</li> <li>・小学生との交流を通して、憧れや期待を膨らませる</li> </ul>	・戸外で十分体を動かす気持ち良さを味わう	体育
		・食材に関心を持ち、楽しい雰囲気の中で食事をする	家庭
		・運動会を通じて、みんなで応援し合いながら頑張る	体育
		・小学生や年下児の交流で、いたわりや憧れの気持ちを持つ	道徳
		・十五夜の由来を知り、お月見団子作りを楽しむ	生活・家庭
		・時刻や時間に関心を持つ	算数
		・経験した事を自由に描いて楽しむ	図工
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・風邪をひきやすい季節を、元気に乗り越えていく</li> <li>・心地よい日差しの中で、戸外遊びや散歩を楽しむ</li> </ul>	・風邪の予防の大切さを知り、手洗い・うがいを丁寧にする	保健・体育
		・食材や料理に興味を持ち、食事する	家庭
		・秋の自然にふれ、季節の変化を感じる	生活・理科
		・秋の自然物(どんぐり・マツボックリ)を使い、造形活動を楽しむ	生活・図工
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒園コンサート・お楽しみ会への期待を高め参加する</li> <li>・生活リズムを整え、健康に過ごす</li> </ul>	・寒さに負けず、体を使って遊ぶ	体育
		・手洗い・うがい・衣服の調節をする	学活
		・体調の変化を保育士に伝える	学活
		・自分の気持ちを相手に伝え、みんなで楽しく遊ぶ方法を考える	国語・学活
		・水・風の冷たさや、木々の変化に関心を持つ	生活科・理科
		・保育士や友達と会話を楽しみ、思ったこと感じたことを話す	国語・学活
		・自分なりのイメージ体験から、自由に絵を描く	図工
・劇遊びを楽しむ	国語・学活		

1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒さに負けず、戸外で体を動かして遊ぶ</li> <li>・お正月遊びや季節の製作を楽しむ</li> </ul>	・体の温まる遊びをする	体育
		・お正月の遊びを楽しむ	生活
		・伝統的な食に興味を持つ	家庭
		・冬の自然(氷・霜柱)に触れて遊ぶ	生活・理科
		・新年の挨拶をしたり、お正月に経験したことを話したり聞いたりする	国語
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の頑張り、気持ちを大切に自信を持たせる</li> <li>・卒園を意識し、就学への期待感を持たせる</li> </ul>	・健康な生活リズムを身につける	体育
		・身近に地域の人たちや小学生との交流を深める	生活・道徳
		・冬の自然に触れて遊ぶ	生活・理科
		・話を落ち着いて聞くようにする	国語
		・小さい子のクラスにお手伝いに行き、異年齢交流を深める	道徳
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達・保育士と残り少ない園生活を楽しむ</li> </ul>	・戸外でたくさん体を動かして集団遊びを楽しむ	体育
		・社会生活に必要なマナーを見に付ける	道徳
		・お別れ会・卒園式を通して、感謝の気持ちを表す	道徳
		・4月からの新しい生活に期待を持つ	生活
		・保育所での思い出や、学校への期待などを話す	国語

# 1年生入門期における指導内容

知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生の話や友だちの発表を最後まで聞く。(国)</li> <li>・正しい姿勢、口形で、大きな声ではっきり最後まで話す。(国)</li> <li>・正しい姿勢、正しい鉛筆の持ち方で、ていねいに書く。(国)</li> <li>・ひらがなを正しく読んだり、書いたりする。(国)</li> <li>・10までの数について、じゅんにならべたり、大小をくらべたりする。(算)</li> <li>・くり上がりのないたし算、くり下がりのないひき算をする。(算)</li> <li>・学校を探検し、施設や先生方に親しむ。(生活)</li> <li>・アサガオを育て、観察する。(生活)</li> <li>・校庭や地域の自然に親しむ。(生活)</li> </ul>	学 力 の 向 上
徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気よくあいさつ・返事をする。(道徳)</li> <li>・「～です(か)」「～ます(か)」を言う。(道徳)</li> <li>・「ありがとう(ございます)」「ごめんなさい」を素直に言う。(道徳)</li> <li>・「入れて。(あそぼう。)」 「いいよ。」と誘い合って一緒に遊ぶ。(道徳・学活)</li> <li>・悪口・うそを言わずに、友だちと仲良くする。(道徳)</li> <li>・くつ箱、ロッカー、机の中など、身の回りの整理整頓をする。(道徳・学活)</li> <li>・学習用具を忘れずに準備する。(道徳・学活)</li> <li>・日直・そうじ給食当番・係など自分の仕事に進んで取り組む。(道徳・学活)</li> </ul>	規 律 あ る 態 度 の 育 成
体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い、うがい、歯みがきをする。(学活)</li> <li>・早寝、早起きをする。(学活)</li> <li>・好き嫌いせずに、良く噛んで食べる。(学活)</li> <li>・安全(交通・不審者・施設遊具等)に気をつけて行動する。(学活)</li> <li>・元気よく外遊びや朝マラソンに取り組む。(業前・業間活動)</li> <li>・自分の目標に向かって、いろいろな運動に親しむ。(体)</li> </ul>	体 力 の 向 上
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室の前面黒板の前に広いスペースをとって、集まって座って話を聞けるようにする。</li> <li>・くつ、ロッカー、机などに名前シールを貼り、自分の使う場所が分かるようにする。</li> <li>・名前の順、背の順で並べるようにする。</li> <li>・「きりつ」「きをつけ」「れい」「前へならえ」などの号令に合わせて、整列したり集団行動したりできる。</li> <li>・はさみ、鉛筆、箸を正しく使うようにする。</li> <li>・座り込まずに立ったまま、左右反対にせずに、靴をはいたり脱いだりする。</li> <li>・固結び、ちょうちょう結びができる。</li> <li>・雑巾のねじり絞りができる。</li> <li>・姿勢良く、立ったり座ったり食事をしたりできる。</li> <li>・おわんを手を持って食べる。</li> <li>・地区名、班長の顔と名前を覚える。</li> </ul>	

## 平成19年度 連携交流カレンダー

●職員・保護者

◎児童・幼児

月/日	内 容	幼	保	小	保護者
4/19(木)20(金)	授業・給食体験(幼・保職員→小1へ)	●	●	●	
4/25(水)	授業体験(幼・保職員→小1へ)	●	●	●	
5/28(月)	1年生保護者向けアンケート実施				●
5/31(木)	(指導課訪問)	●	●	●	
6/18(月)	(心肺蘇生法合同講習会)	●	●	●	
6/19(火)	音楽交流会(小4・幼・保)	◎	◎	◎	
6/7(木),12(火),21(木), 26(火),28(木), 11/5(月),12(月),19(月)	交換授業体験(幼・保職員→小1へ)	●	●	●	
6月～7月	交換保育体験(小学校職員→幼・保へ)	●	●	●	
7/6(金)	七夕まつり(小1→幼稚園へ)	◎		◎	
7/17(火)	音楽交流会(小3・幼・保)	◎	◎	◎	
7/17(火)	パズルで遊ぼう(小5・幼・保)	◎	◎	◎	
7/27(金)	(パソコン合同研修会13:00～)	●	●	●	
8/20(月)	プール体験(幼→小学校へ)	◎			
8/21(火)	(教育相談研合同修会8:30～) 教育講演会(13:10～・平方公民館)	●	●	●	
8/22(水)	プール体験(幼→小学校へ) 保育参観(プール指導)9:30～	◎		●	
9/22(土)	運動会(幼保→小学校へ)	◎	◎	◎	
9/27(木)	虫さがし(小1・幼・保)	◎	◎	◎	
10/6(土)	幼稚園運動会(小1卒園生→幼稚園へ)	◎		◎	
10/11(木)	研究授業(3年)学活3-1	●	●	●	
10/13(土)	保育所運動会(小1卒所生→保育所へ)		◎	◎	
10/18(木)	研究授業(2年)道徳2-1	●	●	●	
10/25(木)	研究授業(6年)国語6-3	●	●	●	
10/27(土)	幼稚園バザー	◎	◎	◎	●
10/30(火)	道徳授業体験(小1・幼・保)	◎	◎	◎	
10/30(火)	図書委員会読み聞かせ→幼・保へ	◎	◎	◎	
10/31(水) (雨天予備日11/5(月))	チャレンジ集会・学校公開日	◎	◎	◎	●
10月～11月	交換保育体験(小学校職員→幼・保へ)	●	●	●	
11/5(月),12(月), 19(月)	交換授業体験(幼・保職員→小1へ)	●	●	●	
11/8(木)	研究授業(4年)国語4-1	●	●	●	
11/9(金)	動物園ごっこ(小6・保→幼稚園へ)	◎	◎	◎	
11/10(土)	平方小キッズフェスタ	◎	◎	◎	●
11/13(火)	校庭遊び(小1・幼・保)	◎	◎	◎	

月/日	内 容	幼	保	小	保護者
11/16(金)	落ち葉拾い(小1・幼・保→丸山公園へ)	○	○	○	
11/19(月)	3年生読み聞かせ(小3・幼・保)	○	○	○	
11/22(木)	4年生読み聞かせ(小4・幼・保)	○	○	○	
11/22(木)	研究授業(5年)国語5-2	●	●	●	
11/30(金)	校内持久走大会応援	○	○	○	●
12/10(月),11 (火),14(金),17(月)	図書委員会読み聞かせ→幼・保へ	○	○	○	
12/6(木)	おもちつき	●		●	
12/14(金)	道徳授業体験(小1・幼・保)	○	○	○	
1/16(水)	保育参観(幼稚園指導課訪問)	●	●	●	
1/18(金)	昔遊び(小2・幼稚園)	○		○	
1/21(月)	校庭遊び(小1・幼・保)	○	○	○	
1/21(月)	給食体験(幼・保→小5へ)	○	○	○	
2/7(木)	研究発表 研究授業(1年)道徳1-1, 1-2, 1-3 幼児授業体験(幼・保→小1へ) 図書委員会読み聞かせ(幼・保へ)	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	
2/12(火)	歌って手足を動かして(ドレミ体操 と手遊び)(小3・幼・保)	○	○	○	
2/12(火)	ことば遊び歌(群読)(小4・幼・保)	○	○	○	
2/28(木)	年長組を送る会(保→幼)	○	○		

## 平成19年度 交流活動計画

活動名	音楽交流会（総合2時間）	
活動日時	平成19年6月19日（火）	
活動場所	平方小学校体育館	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学4年生
ねらい	・4年生の歌を聴いたり、一緒にふれあって遊んだりして親しみの気持ちをもつ。	・自分から進んで幼児に声をかけたり、手をつないだりして、思いやりの心をもって優しく接することができる。
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	七夕まつり（音楽2時間・図工2時間・生活3時間）	
活動日時	平成19年7月6日（金）	
活動場所	平方幼稚園ホール	
対象	幼稚園 4歳児・5歳児	小学1年生
ねらい	・小学校一年生の児童と共に七夕の行事に喜んで参加し、一緒に過ごしたり楽しんだりして親しみをもつ。	・幼児に優しく話しかけたり手をつないだり飾り付けをしたりしながら、あたたかい心で接することができる。 ・幼児の世話をしたり、発表をほめてもらったりしながら、上級生としての自信をもつことができる。
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	音楽交流会（音楽1時間・国語1時間・総合2時間・学級活動2時間）	
活動日時	平成19年7月17日（火）	
活動場所	平方小学校体育館	
対象	幼稚園 4歳児・5歳児 保育所 5歳児	小学3年生
ねらい	・3年生の歌を聴いたり、じゃんけんゲームを一緒にしたりしてふれあうことを楽しむ。	・幼児に歌を発表したり音楽リズム遊びを一緒にしたりしながら、自ら進んで関わりをもつことができる。 ・幼児に優しく接し、上級生としての自信をもつことができる。
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	パズルで遊ぼう（図工8時間・学級活動1時間）	
活動日時	平成19年7月17日（火）	
活動場所	平方小学校体育館	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学5年生
ねらい	・5年生の作ったパズルで話したり教えてもらったりしてふれあいを楽しむ。	・幼児にパズルの遊び方をわかりやすく教えることができる。 ・幼児に優しく話しかけたり遊んだりしながら、思いやりのある気持ちで接することができる。
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	虫探し（生活2時間）	
活動日時	平成19年9月27日（木）	
活動場所	平方小学校校庭及び周辺	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学1年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思ったことや感じたことを一年生に伝えながら一緒に虫探しを楽しむ。</li> <li>・友だちや一年生と一緒に虫を探したり捕まえたりする楽しさを味わう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児に自分から話しかけたり一緒に行動したりしながら、優しい心で接することができる。</li> <li>・幼児と仲良く虫を探したり観察したりすることができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	読み聞かせ（国語1時間・総合2時間・学級活動2時間）	
活動日時	平成19年11月19日（月）	
活動場所	平方小学校体育館	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学3年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生とのかかわりの中で、自分の思ったことや感謝の気持ちを相手に伝えるように言葉で伝える。</li> <li>・小学生が読んでくれる絵本をじっくり聞き、お話の世界を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が好みそうな本を選ぶことができる。</li> <li>・幼児におもいやりのある気持ちをもって、優しく接することができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	読み聞かせ（国語1時間・総合1時間）	
活動日時	平成19年11月22日（木）	
活動場所	平方小学校4学年各教室	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学4年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生とのかかわりの中で、自分の思ったことや感謝の気持ちを相手に伝えるように言葉で伝える。</li> <li>・小学生が読んでくれる絵本をじっくり聞き、お話の世界を楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児にわかりやすく本を読むことができる。</li> <li>・幼児に思いやりの心をもって、優しく接することができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	動物園ごっこ（総合2時間）	
活動日時	平成19年11月9日（金）	
活動場所	平方幼稚園園庭	
対象	幼稚園 4歳児・5歳児 保育所 5歳児	小学6年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の幼児や小学生を招待し、自分たちで作ったもので遊んだり、やりとりを楽しんだりして満足感を味わう。</li> <li>・自分の思いや必要なことを相手にわかるように伝えたり相手の話を聞いたりして遊びをすすめようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ていねいな言葉づかいで、幼児からの問題に答えたり、幼児に質問したりできる。</li> <li>・相手の気持ちを考えて「招待ありがとう」の手紙を書くことができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	



	落ち葉拾い（生活5時間）	
活動日時	平成19年11月16日（金）	
活動場所	丸山公園	
対象	幼稚園 4歳児・5歳児 保育所 5歳児	小学1年生
ねらい	<p>5歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・秋の自然に触れ、木々の変化や美しさを感じ、集めたり作って遊んだりして楽しむ。</li> <li>・自分の思いを伝えながら、小学生と一緒に遊ぶことを十分に楽しみ、かかわりを深める。</li> </ul> <p>4歳児</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と一緒に色付いた木の葉を見たり、集めたり、首飾りを作ったりすることを楽しみ、秋の自然を十分に味わう。</li> <li>・気付いたことや発見したこと、感じたこと等、自分なりの言葉で相手に話そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児に優しく話しかけながら落ち葉の冠の作り方を教えてあげる等、思いやりのある態度で接することができる。</li> <li>・幼児と仲良く落ち葉や実などを観察しながら、秋らしさに気づくことができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	昔遊び（国語1時間・図工1時間・生活科10時間）	
活動日時	平成20年1月18日（金）	
活動場所	平方小学校体育館及び平方幼稚園ホール	
対象	幼稚園 4歳児・5歳児	小学2年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなお正月遊びに興味を持ち、進んで2年生とかかわりながら、繰り返しやってみたり、一緒に楽しんだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔遊びの楽しさや技を名人から教わり、幼児と一緒に楽しむ。</li> <li>・教わった技を1年生に優しく教えてあげる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ3回	

活動名	給食体験（学級活動3時間）	
活動日時	平成19年1月21日（月）	
活動場所	平方小学校5学年各教室・クラブ室・ランチルーム・家庭科室	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学5年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生に教わったり、一緒に食べたりし、給食の雰囲気を楽しみ、小学校への期待をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児に給食の仕方を分かりやすく教えることができる。</li> <li>・幼児への思いやりの気持ちをもって、優しく接することができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	授業体験（道徳1時間）	
活動日時	平成20年2月7日（木）	
活動場所	平方小学校1学年各教室	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	小学1年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師、友達、1年生の話をじっくり聞いたり、自分の感じたことや考えたことを伝えようとする気持ちをもつ。</li> <li>・親しみをもつ1年生と一緒に授業に参加することで授業の雰囲気になれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児と一緒によく話を聞きながら話し合い、誰にでも優しくしようとする気持ちをもつことができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	図書委員会読み聞かせ（業間活動）	
活動日時	平成20年2月7日（木）	
活動場所	平方小学校1学年各教室	
対象	幼稚園・保育所 5歳児	図書委員会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お話をよく聞き、じっくりお話の世界を楽しむ。</li> <li>・小学生が読んでくれる絵本を楽しみ、感謝の気持ちをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話の内容が幼児に伝わるように、上手に音読しながら読み聞かせをすることができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	歌って手足を動かして（音楽1時間・総合2時間）	
活動日時	平成20年2月12日（火）2校時	
活動場所	平方小学校体育館	
対象	幼稚園 4歳児・保育所 5歳児	小学3年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生と一緒にリズム遊びをし、歌を歌ったりリズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・小学生と楽しく過ごす中で親しみをもって交流を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児と一緒に歌ったり、手足を動かして音楽リズム体操をしたりして積極的に関わることができる。</li> <li>・上級生としての自信をもって、幼児に優しい心で接することができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

活動名	ことば遊び歌（国語 時間）	
活動日時	平成20年2月12日（火）3校時	
活動場所	平方小学校4学年各教室	
対象	幼稚園 4歳児・保育所 5歳児	小学4年生
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉のリズムややりとりのおもしろさに気づき、遊びを楽しむ。</li> <li>・4年生の話を聞いたり自分の思いを伝えたりして関わって遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児に言葉や歌をわかりやすく教え、一緒に楽しむことができる。</li> <li>・幼児に思いやりの心をもって、優しく接することができる。</li> </ul>
備考	・事前打ち合わせ1回	

# 第1学年 交流活動案

日時 平成19年7月6日(金)

場所 幼稚園ホール

指導者 平方小学校 神田、川島、野村  
内田

平方幼稚園 大室、佐藤、池田、  
加藤、久川

教科時数内訳【音楽2時間・図工2時間・  
生活3時間】

## 1 交流活動名 「七夕まつり」

### 2 活動のねらい

○小学生・幼児に優しく話しかけたり手をつないだり飾り付けをしたりしながら、あたたかい心で接することができる。

・幼児の世話をしたり、発表をほめてもらったりしながら、上級生としての自信を持つことができる。

○幼児 4歳児・小学校一年生の児童と共に七夕の行事に喜んで参加し、一緒に過ごしたり楽しんだりして親しみをもつ。

5歳児・みんなで作ったり飾ったりした笹飾りの中で雰囲気をも十分に味わい、一年生と一緒に七夕の行事を楽しむ。

### 3 幼児の実態

#### 4歳児

○七夕に興味をもち、お話を聞いたり七夕の飾りをつくったりしている。

○小学一年生の児童に短冊へのお願い事を書いてもらったり、一緒に飾りをつけたったりしたことで「(小学生に)また会いたいな」という気持ちが高まってきている。

#### 5歳児

○小学生と一緒に遊ぶ中で一緒に話をしたり手遊びをしたりして少しずつそれぞれが関わりをもとうとする姿や「話したい」「遊びたい」という思いが出てきた。

○前日にペアになり短冊を書いてもらったことがとてもうれしかったようで、親しみをもち、次の日また一緒に七夕まつり会で会えることをとても楽しみにしている。

○合奏を一年生に聞いてもらうことを楽しみにしている。

### 4 幼稚園との連携

幼児は、小学生に優しく接してもらったり、発表を見たりすることで、上級生に親しみ、あこがれを持つことができるであろう。また、小学生は、短冊を書いてあげたり、幼児に喜んでもらったりすることで、幼い人に対する優しい心を育み、自信を持つことができると思う。

### 5 事前の指導

○出し物の練習 あいさつの言葉・・・各クラス代表1名

歌3曲

終わりの言葉・・・1名

○七夕かざり・短冊制作

○幼児のために短冊を書いてあげて、一緒に飾り付け。(前日)・・・各自自己紹介や優しい言葉かけ

○招待状をいただく。(前日)・・・各自お礼の言葉

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:50	1 幼児とペアになり、幼稚園ホールへ入場し席へ着く。	○お互いに挨拶をして、手をつなぐようにする。 ◇自分から進んで幼児に優しい声かけをすることができる。
10:00	2 始まりの言葉・・・園児代表	○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。
	3 園長（校長）先生の言葉	○話を最後までしっかり聞くようにする。
	4 先生自己紹介（小学校・幼稚園）	○先生方に親しみを持つきっかけとする。
	5 1年生の歌 「子どもの世界」「きらきらぼし（ペープサートを用意）」「校歌」	○恥ずかしがらずに一生懸命歌うようにする。
	6 全員の歌 「たなばたさま」	○友達の声聞きながら歌うようにする。
	7 年少組の歌 「おほしさま」	○歌を良く聴いて、拍手するようにする。
	8 年長組の歌 「たなばたまつり」	◇心をこめて拍手したり、幼児をほめたりできる。
	9 終わりの言葉・・・小学生代表	○感想を交えながら、みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。
10:35	10 幼児と握手をしてさようならの挨拶をする。	◇優しい声かけをしながら、握手してお別れの挨拶をすることができる。
	11 幼児を教室へ送ってから、幼稚園ホールの椅子を片付ける。	

## 7 活動を終えて

- 前日に短冊を書いてあげたり、一緒に飾り付けをしたりすることで、親しみが増し、交流が深まった。
- 前日のペアが当日に生かされ、期待を持つことができた。
- 席が隣同士になってよかった。一緒に過ごせて楽しかった。
- ペアや3人組で活動したので、子どもたちは必然的に伝え合いに努力していた。
- お互い仲良くしたいという願いを持てた。
- 1年生の出し物に幼稚園児が感心し、あこがれをいただいていた。幼児も1年生も、お互いに発表を見せ合うことで満足し自信を深めていた。
- 園児のゆかた姿がとてもかわいらしかった。
- 前日に短冊を書いたり、飾り付けをしたりするときの子どもたちの活動場所や活動方法の確認をしたほうがよかった。当日集会終了後の子どもたちの動きについても確認したほうがよかった。
- 数名は教師の願い事を書く担当だったが、前日から全員がペアや3人組で活動すればよかった。
- 30分程度と時間が短かった。1年生が願い事を上手に発表していたが、幼児の発表も入れて、みんなの前で話す、聞く活動があってもよかった。
- 集会の中で、感想交流をしてもよかった。
- 時間的場所的な余裕があれば、手遊び歌など取り入れるとさらに交流が深まるだろう。

## 第1学年交流活動案

日時 平成19年9月27日(木)  
 場所 平方スポーツ広場  
 指導者 平方小学校 神田、川島、野村  
 平方幼稚園 大室、加藤、久川  
 西上尾第2保育所 板垣、新井、氏家  
 教科時数内訳【生活科2時間】

### 1 交流活動名 「虫探し」

### 2 活動のねらい

- 小学生
  - ・幼児に自分から話しかけたり一緒に行動したりしながら、優しい心で接することができる。
  - ・幼児と仲良く虫を探したり観察したりすることができる。

- 幼児 5歳児
  - ・思ったことや感じたことを一年生に伝えながら一緒に虫探しを楽しむ。
  - ・友だちや一年生と一緒に虫を探したり捕まえたりする楽しさを味わう。

### 3 幼児の実態

- 5歳児
  - 園庭でコオロギやバッタを探し、捕まえて喜んだり、図鑑で調べたりする姿が見られる。
  - 一年生(小学生)と一緒に遊んだことがとても楽しかった経験となり、また会えることや遊べることにとても期待をもっている。


### 4 幼稚園・保育所との連携



春夏の頃と比べ変化してきた秋の野原の自然とふれあいながら、小学生においては幼児に優しく接する態度や思いやりの心を養い、幼児においては小学生に対して親しみや憧れの気持ちを持つことができると考える。

### 5 事前の指導

- ペアやグループの設定
- 虫探しコースの下見、平方スポーツ広場の予約(スポーツ振興センターTEL048-781-8112)
- 自己紹介・やさしい話しかけ方や接し方についての話し合い
- 虫かご・薄手の長袖・長ズボンの用意(各自)、虫除けスプレー・医薬品の用意(各クラス)
- 保育所の児童の控え室(ランチルーム)、トイレサンダルの準備
- 水筒持参(保育園児)

### 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	児童の反応	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:35	1 幼児とペアになり、第2校庭に集合する。 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○です。よろしくね。</li> <li>・仲良くしようね。</li> <li>・虫が捕れるといいね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○お互いに挨拶をして、手をつなぐようにする。</li> <li>◇自分から進んで幼児に優しい声かけをすることができる。</li> </ul>

9:40	2 平方スポーツ広場まで、手をつないで一緒に歩く。		○交通安全に気をつけるようにする。	
9:55	3 虫探しをする。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・こおろぎがいるよ。</li> <li>・虫をとってあげようか？</li> <li>・ありがとう。</li> <li>・バッタもさがそうよ。</li> <li>・おにいさん、おねえさんは、虫探しが上手だな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○虫を探す範囲、気をつける場所、集合の合図、離れ離れにならず仲良く虫探しをすること等について事前指導してから行動させる。</li> <li>○各場所に分散し、虫探しの様子を見守り 子どもたちを支援する。</li> <li>◇幼児と仲良く虫を探したり観察したりできる。</li> </ul>
10:20	4 学校まで、手をつないで一緒に帰る。		○捕まえた虫に注意がいきがちなので、交通安全に気をつけるようにする。	
10:35	5 今日の活動について振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったね。</li> <li>・虫をとってくれてありがとう。</li> <li>・喜んでくれてよかったな。</li> <li>・虫をとってあげたかったな。</li> <li>とれなかったけど、楽しかったな。</li> <li>・また一緒に遊びたいね。</li> </ul>	○仲良く活動できたことの楽しさについて感想を聞き、次回の交流への期待を持たせるようにする。	

## 7 活動を終えて

- 活動場所が適度な広さで見通しがよく、安全に活動しやすい場所で適切だった。
- 小学生は、幼児に優しく接しようとしていた。また、幼児をかわいといいと感じて慈しみ、思いやりの心を育むことができた。
- 幼児は、小学生との交流を楽しみ、感じたことを積極的に教師や友達に伝えようとしていた。
- 幼児は自分のために一生懸命探してくれたことがとてもうれしかったようで、「見つからなかったけど、ずっと探してくれた。」と一年生のやさしい気持ちを感じている様子が見られた。
- 「お兄さんが虫をとってくれてすごうれしかった。」と一人の幼児が話すと、「わたしも」「ぼくも」と嬉しそうに話す幼児がたくさんいた。
- 「虫を入れるときに箱をあけて手伝ってくれた。」など、一年生がしてくれたこと一つ一つがとても心に残っている幼児もいた。
- 子どもたちが顔見知りになり、名前を覚えて親近感を深めることができた。
- お互いに今後の交流を楽しみに期待することができた。
- 教師同士が協力関係を深めることができた。
- 時間に余裕があれば、ペアやグループで学校の校庭で遊ぶ活動が持てると、さらに子どもたちの親しみが増すだろう。

# 第1学年交流活動案

日時 平成19年11月16日(金)

場所 丸山公園

指導者 平方小学校 神田、川島、野村

平方幼稚園 大室、加藤、久川、佐藤、池田

西上尾第2保育所 板垣、新井、氏家

教科時数内訳【生活科5時間】

## 1 交流活動名 「落ち葉ひろい」

## 2 活動のねらい

- 小学生
  - ・幼児に優しく話しかけながら落ち葉の首飾りの作り方を教えてあげる等、思いやりのある態度で接することができる。
  - ・幼児と仲良く落ち葉や実などを観察しながら、秋らしさに気づくことができる。
  - ・見守ってくださる地域の方々に感謝の心をもって接することができる。
- 幼児
  - 5歳児・秋の自然に触れ、木々の変化や美しさを感じ、集めたり作って遊んだりして楽しむ。
    - ・自分の思いを伝えながら、小学生と一緒に遊ぶことを十分に楽しみ、かかわりを深める。
  - 4歳児・小学生と一緒に色付いた木の葉を見たり、集めたり、首飾りを作ったりすることを楽しみ、秋の自然を十分に味わう。
    - ・気付いたことや発見したこと、感じたこと等、自分なりの言葉で相手に話そうとする。

## 3 幼児の実態

- 5歳児
  - 園庭のサクラやケヤキの葉が赤や黄色に色づき変化していることに気づき、美しさを感じたりいろいろな葉の形や色の違いに興味をもったりしている。
  - 「一年生とお弁当食べられたらいいな。」と楽しみにする様子があったり、授業やペアリングと一緒に過ごす機会があり、一年生とのかかわりの中で自分を出し、安心して楽しんで遊ぶ姿が見られたりしている。
- 4歳児
  - 園庭にあるケヤキやサクラの葉の色が変化したことに気付き、拾ったり落ち葉を集めてお風呂にしたりシャワーにしたり、葉っぱの音を聞いたりすることを楽しんでいる。
  - 小学生と七夕まつりに参加したり、触れ合って遊んだり、運動会を小学校校庭で行ったりする中で小学生への親しみをもっており、落ち葉拾いに一緒に行くことに期待を膨らませている。

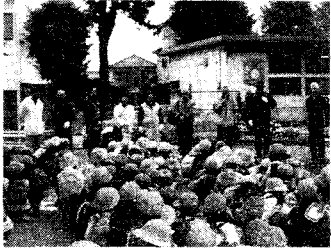




## 4 幼稚園・保育所との連携

深まってきた秋の公園の自然とふれあいながら、小学生においては幼児に優しく接する態度や思いやりの心を養い、幼児においては小学生に対して親しみや憧れの気持ちを持つことができると考える。また、地域の方々にご協力いただくことにより、人との温かい交流を深め、感謝の心を持ち、豊かな心を育むことができると考える。

## 5 事前の指導

- ペアやグループの設定
- 丸山公園管理事務所への連絡(TEL048-781-0163)
- やさしい話しかけ方や接し方についての話し合い
- 首飾り材料の用意(毛糸、セロテープ)、首飾りの作り方の学習

6 当日の流れ

時間	活動の流れ	児童の反応	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:00	1 幼児とペアになり、園庭に集合する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・○○です。よろしくね。</li> <li>・仲良くしようね。</li> <li>・地域のおじさん、お婆さん、ありがとうございます。</li> </ul> 	<p>○お互いに挨拶をして、手をつなぐようにする。</p> <p>◇自分から進んで幼児に優しい声かけをすることができる。</p>
9:10	2 丸山公園まで、手をつないで一緒に歩く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手をつなぐと、あたたかいな。かわいいいな。</li> </ul> 	<p>○交通安全に気をつけるようにする。</p>
9:55	3 丸山公園に到着後、トイレ休憩。		<p>○初めに到着する1組が北側のトイレまで移動し、2組、3組は南側のトイレを利用する。</p>
10:10	4 保育所の幼児も合流し、グループごとに落ち葉や実などを拾い、首飾りを作る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・葉っぱの色がきれいだな。</li> <li>・毛糸は固結びするんだよ。</li> <li>・セロテープでとめていくんだよ。</li> <li>・首飾りがすてきだね。</li> <li>・ほかの遊びもしたいな。</li> </ul>  	<p>○落ち葉を拾う範囲、気をつける場所、集合の合図、離れ離れにならず仲良く落ち葉拾いをする事等について事前指導してから行動させる。</p> <p>○各場所に分散し、落ち葉拾いの様子を見守り、子どもたちを支援する。</p> <p>◇幼児と仲良く落ち葉拾いをしたり首飾りの作り方を優しく教えたりできる。</p>
11:30	5 お弁当を食べる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで一緒に食べるとおいしいね。</li> </ul> 	<p>○グループごとに一緒に食べるようにする。</p> <p>○食べ終わったグループから順番にトイレをすませておくようにする。</p>



12:30	6 学校まで、手をつないで一緒に帰る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さようなら、また遊ぼうね。</li> <li>・楽しかったね。</li> <li>・かわいかったね。</li> <li>・おにいさん、おねえさん、やさしくしてくれてありがとう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保育所の幼児とお別れの挨拶をしてから出発する。</li> <li>○仲良く活動できたことの楽しさについてふりかえり、次回の交流への期待を持たせるようにする。</li> <li>○緊張がほぐれているので、気を抜かず、交通安全に気をつけるようにする。</li> </ul>
1:15	7 学校へ到着	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のおじさん、おばさん、ありがとうございました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○見守ってくださった地域の方々にお礼の挨拶をする。</li> </ul>

※雨天延期 11月20日(火)

この場合、昼食はとらず11:30~園児と学校へ出発、

12:15 学校へ到着

#### 7 活動を終えて

- トイレへ一緒にいったり首飾りの作り方を教えたり一年生のリードする姿や責任感がすばらしかった。
- 学校の行き帰りに一年生がなぞなぞを出したり話しかけたり、進んでかかわり楽しませようとする姿勢がみられた。
- 幼い子を気遣う心が育まれていた。
- 地域の方々が同行して見守ってくださったので、安全に過ごすことができた。また、地域の方々への感謝の心も育むことができた。
- 交流することにより人と人との温かいかわり合いの点では豊かな心を育みねらいを達成していたが、「秋の自然を十分に楽しむ」という生活科のねらいや保育のねらいは薄れがちだった。首飾りを作ることは時間を要するので、秋探しをする活動を中心に交流したほうがよい。

## 第2学年 交流活動案

日時 平成20年1月18日(金) 2・3校時

場所 体育館及び平方幼稚園ホール

指導者 平方小学校 堀、井上、島田

平方幼稚園 大室、佐藤、池田、加藤、  
久川

教科時数内訳【国語1時間・図工1時間・生活  
科10時間】

### 1 交流活動名 「昔遊び」

### 2 活動のねらい

- 小学生・昔遊びの楽しさや技を名人から教わり、幼児と一緒に楽しむ。
  - ・教わった技を1年生に優しく教えてあげる。
- 幼児・いろいろなお正月遊びに興味をもち、進んで2年生とかかわりながら繰り返しやってみたり、一緒に楽しんだりする。

### 3 幼児の実態

#### 4歳児

- 糸引きごまに色を塗り、繰り返し糸引きごまを回すことを楽しんでいる。また、友達に「どちらが長く回せるか競争しよう。」と誘ったり、一緒に回したりして遊ぶことを楽しんでいる。お手玉や剣玉等いろいろな遊びにも興味をもっているが、なかなかうまくいかない。そして、昔遊び名人にコツを教えてもらうことや会えることを楽しみにしている。

#### 5歳児

- 年少組のときにも名人の方や2年生と交流し、こまやお手玉、おはじき、剣玉など、いろいろなお正月遊びを知り興味をもって楽しんだ。昨年の経験から今年はもっと上手になりたいと挑戦する姿が見られる。
- 興味を持ったことに繰り返し挑戦したり、友達と一緒に試したり、工夫したりしながら楽しんだりするようになってきている。

### 4 幼稚園との連携

幼稚園児との関わりを深くするためには、事前にペアを組み、お互いにコミュニケーションをとることによって安心感や期待感を持たせることが大切だと考え、一人対一人、一人対二人など組み方の工夫をした。また、事前の打ち合わせを通して役割分担を行い、活動がスムーズにいくように無理のない計画を立てた。

### 5 事前の指導

- 昔遊びの練習…お手玉、こま、剣玉など。
- 幼稚園児とのペア作り(自己紹介のしかた、ゲーム)
- 終わりの会でお礼を言う子への指導(男女1名ずつ)
- 名人さんへのお礼の手紙の書き方指導
- 掲示物の書き方指導(会場図)
- 幼児への接し方と名人さん(地域の人)への接し方
- 幼稚園児への手紙の書き方指導(交流の感想)

6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:30	1 体育館に集合し、幼児とペアになって座る。	○お互いに挨拶をして、手をつなぐようにする。 ◇自分から進んで幼児に優しい声かけをすることができる。 ○拍手で名人さんを迎える。
9:45	(はじめの会) 2 校長あいさつ 3 昔遊び名人さんの紹介 4 児童・園児の紹介 5 諸注意	○話を最後までしっかり聞くようにする。 ○名人さんに親しみを持つきっかけとする。
10:00	6 (昔遊び開始) ・体育館…こま・ペーゴマ・紙芝居・剣玉・ゴム跳び ・ホール…おはじき・めんこ・お手玉・折り紙 *体育館とホールを行き来しながら昔遊びを教わる。	◇園児と仲良く遊びを教わっている。 ◇教えてもらったら、「ありがとうございます。」とはっきり言うことができる。 ◇進んでいろいろな遊びにチャレンジし、楽しんでいる。
11:20	体育館に移動する。 園児とペアになって座る。	
11:25	(終わりの会) 7 お礼の言葉 2年生…男女1名ずつ 幼稚園…年少・年長1名ずつ 8 プレゼント渡し 9 区長代表さん挨拶	○教えて下さった方へ、心をこめて、丁寧な言葉づかいで、はっきりとお礼の言葉を伝える。 ○「ありがとうございました。」と言葉を添えて児童と園児がペアになって渡す。
11:40	解散	

7 活動を終えて

- 事前に幼稚園児とペア作りをして顔合わせをしておいた。簡単なゲームを楽しみ、互いに触れあう時間を確保しておいたので、当日はスムーズに行動できた。また、昔遊びを早くやりたいという意識の高揚にもつながった。
- 普段、小学校では面倒を見てもらっている2年生だが、当日は、年長者としての自覚がさまざまな場面で見られた。また、園児も大変喜んでくれて、2年生を頼る声も聞かれた。
- 更に交流を深めるために、ペアを組んだ園児に手紙を書き、届けた。
- 名人さんから丁寧にわかりやすくコツを教えてもらい、子どもたちは大満足だった。
- 安全面の点から、場所は幼稚園ホールと小学校の体育館に限定した。会場の行き来もスムーズに行うことができ、よかった。
- 昨年と比べ、名人さんの人数が確定するのが遅く、事前の準備(お礼の手紙)に手間取った。
- 当日になって、名人さんの人数変更(追加)や遊ぶ種目の追加など、予想外の事態に戸惑い、活動の流れも開始、終了ともに遅れが出てしまった。
- 前日が開校記念日だったため、直前の準備に支障が出た。日程は休みの翌日を避けた方がよい。
- 事前の打ち合わせの段階で、幼稚園だけでなく、名人さんとも種目の確認などが行えるとよい。

## 第3学年 交流活動

日時 平成19年7月17日〔火〕

場所 体育館

指導者 平方小学校 後藤、宮本、内田

平方幼稚園 大室、佐藤、池田

加藤、久川

西上尾第2保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【音楽2時間・総合2時間】

### 1 交流活動名 「音楽交流」

### 2 活動のねらい

○小学生・幼児に歌を発表したり音楽リズム遊びを一緒にしたりしながら、自ら進んで関わりをもつことができる。

・幼児に優しく接し、上級生としての自信をもつことができる。

○幼児 4歳児・3年生の歌を聴いたり、じゃんけんゲームを一緒にしたりしてふれ合うことを楽しむ。

5歳児・3年生とゲームやリズム遊びをふれ合いながら楽しみ、親しみをもち関わって遊ぶ。

### 3 幼児の実態

#### 4歳児

○友達に親しみをもち、自分の思いを出しながら好きな友達と一緒に遊んでいる。

○教師や友達と一緒に歌を歌ったり、リズム遊びをしたりして遊ぶことを楽しんでいる。

#### 5歳児

○6月に4年生と音楽交流をしているので、歌を聴くことや一緒に遊ぶことをとても楽しみにしている。

○歌を歌うことがとても好きで、友達と一緒に口ずさんだり、リズムにあわせて踊ったり楽器にふれたりしている。

### 4 幼稚園・保育園との連携

幼児は、音楽発表を見たり、音楽リズム遊びをしたりすることで、上級生に親しみをもち、小学校への安心感が高まるであろう。また、小学生は、歌やリズム遊びでリードし、思いやりを持つとともに自分の成長に自信を持ち、幼児への関心を持つことができると考えられる。

### 5 事前の指導

○出し物の練習 始めの言葉・・・2名

司会の言葉・・・4名

歌1曲・音楽ゲーム2曲

終わりの言葉・感想・・・2名

○感想用紙

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント		
9:25	1 体育館へ入場し席へ着く。	○身近に感じるよう向かい合うようにする。 ○拍手で迎えるようにする。 ○拍手で迎えるようにする。		
	2 保育所入場し席へ着く。			
	3 幼稚園入場し席へ着く。			
9:35	4 先生の言葉（小学校）	○話を最後までしっかり聞くようにする。  ○明るく元気に話すようにする。  ○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。  ○自信をもって、一生懸命に歌うようにする。  ○歌を聴いて、拍手をするようにする。 ◇心をこめて、拍手をしたり、ほめたり思いやりを持って聞くことができる。		
	5 司会のあいさつ・・・小学生代表			
	6 始めの言葉・・・小学生代表			
	7 3年生の歌「きょうりゅうとチャチャチャ」			
	8 保育所の歌「夏のうた」			
	9 年少組の歌「おほしさま」			
	10 年長組の歌「ロケットばびゅ〜ん」			
	9:50		11 みんなで歌って遊ぼう「じゃんけん列車」「大きなくりの木の下で」	◇安心して取り組めるよう、自分から進んで幼児とスキンシップをとることができる。 ◇恥ずかしがらずに幼児を見ながら踊ることができる。  ○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。
			12 感想発表・・・幼保子ども代表	
	10:05		13 終わりの言葉・・・小学生代表	○次の約束をし、お別れの挨拶をする。

## 7 事後の反省

- 幼児も3年生も、お互いに発表を見せ合うことで満足し自信を深めていた。
- 「じゃんけん列車」は、幼児も知っている遊びなので、慣れてくるとともに積極的に楽しむことができた。
- 「大きなくりの木の下で」は、じゃんけん遊びからスムーズに円形がつくられていた。お互いに顔を見せ合うことでも交流が深まり、その動作がそれぞれにとってもかわいらしかった。
- 感想交流では、こどもの言葉で発表でき、場が和みとてもよかった。
- 「じゃんけん列車」では、意識のずれがあったのか、交流に積極的になれない3年生がいた。
- 時間的な余裕があれば、「大きなくりの木の下で」の後、グループで自己紹介など取り入れるとさらに交流が深まるだろう。
- 伝え合いが自然に出来るよう、3～4人位の少人数で活動するとよかった。

## 第3学年 交流活動案

日時 平成19年11月19日〔月〕2校時

場所 体育館

指導者 平方小学校 後藤、宮本

平方幼稚園 大室、加藤、久川

西上尾第二保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【国語1時間・総合2時間・特活2時間】

### 1 交流活動名 「読み聞かせ交流会」

### 2 活動のねらい

○小学生・幼児が好みそうな本を選ぶことができる。

・幼児におもいやりのある気持ちをもって、優しく接することができる。

○幼児 5歳児・小学生とのかかわりの中で、自分の思ったことや感謝の気持ちを相手に伝えるように言葉で伝える。

・小学生が読んでくれる絵本をじっくり聞き、お話の世界を楽しむ。

### 3 幼児の実態

5歳児

○降園時に教師が読む絵本や紙芝居をととても楽しみにしており、長い物語や読み聞かせなども集中して聞くことができるようになってきている。

○週一回の絵本の貸し出しでは、ぐりとぐら、バーバーパパなど好きなシリーズを楽しみに借りていく姿が見られる。

### 4 幼稚園・保育園との連携

幼児は、小学生が読んでくれる絵本を聞いたり、手作りプレゼントをもらったりすることで、上級生に親しみを持ち、小学校への安心感が高まるであろう。また、小学生は、幼児が分かりやすい本を選んであげたり、幼児を楽しませてあげたりすることで、おもいやりのある気持ちを持ち、優しく接することができると思う。

### 5 事前の指導

①幼児への接し方

②選んだ本の読み方の練習

③準備（楽しい読み聞かせ交流会の工夫）

- ・幼児が好みそうな本
- ・本のクイズ
- ・手作りプレゼント
- ・出てくる人の紹介
- ・ペープサート
- ・感想を聞く
- ・かんばん作り

④始めの言葉・・・2名

終わりの言葉・・・2名

\*感想用紙を用意する。

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9 : 20	1 体育館へ入場、準備し席へ着く。	○本の題名を壁面に掲示し、コーナーの準備をする。
	2 保育所入場し席へ着く。	○身近に感じるよう向かい合うようにする。
	3 幼稚園入場し席へ着く。	
9 : 35	4 先生の言葉（小学校）	○話を最後までしっかり聞くようにする。
	5 始めの言葉（小学生代表）	○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。
	6 先生から（小学校）	
	7 グループに分かれての読み聞かせ	○一人一人が役割を持ち、責任を持って行えるようにする。 ◇幼児の様子を見て、声の大きさや読む速さに気を付けてあげることができる。
	8 終わりの合図・集合	○聞き手がいない時は、幼児を迎えに行きあげるようにする。
10 : 30	9 感想発表（幼稚園・保育所の幼児）	◇幼児が分かりそうなクイズにしたり、正解したらほめたりできる。 ○みんなに聞こえる声ではっきり気持ちを伝えるようにする。
	10 終わりの言葉（小学生代表）	○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。
	11 幼児を送ってから、体育館の片づけをする。	◇次の約束をして、優しい声かけをしながら、お別れの挨拶をすることができる。

## 7 活動を終えて

- 9月から意識的に読書指導を高めるための活動を行ってきた。また、子ども会議を開き、読み聞かせ交流会でどうしたら幼児に楽しんでもらえるかを話し合い、その内容を子ども主体で決定してきた。そのため、準備や当日の活動においては、一人一人が役割を持ち、責任を持って、交流会に臨むことができた。
- 準備段階で生じた問題にも、各々のグループで話し合い、解決していかなければならなかったもので、お互いに意見を出し合うという機会がもてた。
- 一生懸命に聞いてくれる幼児を前にして、読み聞かせ活動を行うことで、自分を表現することに喜びを感じ、張り切る様子が多くのグループに見られたことも一つの成果のように思う。
- 幼児が集中して聞いてくれたこと、「読んでくれて、ありがとう。」の言葉がとてうれしかったようだ。
- 準備をするための時間が予定した時間よりかかってしまった。
- 話し方や読み方の練習をたくさんさせ、意欲を持たせながら聞き手に伝わるよう指導をしたい。

## 第3学年 交流活動案

日時 平成20年2月12日〔火〕3校時

場所 平方小学校体育館

指導者 平方小学校 内田、後藤、宮本、

平方幼稚園 大室、佐藤、池田

西上尾第二保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【音楽1時間・総合2時間】

### 1 交流活動名 「歌って手足を動かして」

### 2 活動のねらい

○小学生・幼児と一緒にリズム遊びをし、その中で歌ったり、手足を動かしたりして積極的に関わることができる。

・上級生としての自覚をもって、幼児に優しい心で接することができる。

○幼児・小学生と一緒にリズム遊びをし、歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かしたりして遊ぶ楽しさを味わう。

・小学生と楽しく過ごす中で親しみをもって交流を深める。

### 3 幼児の実態

○友達と歌を歌うことや手遊びをすることを楽しんでいる。また、リズムに合わせて体を動かして全身で表現したり、踊ったり音楽に親しんでいる。

○1学期に音楽交流をしており、「大きなくりの木の下で」を覚えてもらったり、じゃんけん列車を一緒にしたりして楽しく過ごした経験から、また小学生と交流がもてることを楽しみにしている。

### 4 幼稚園・保育所との連携

幼児は、手足を動かしてリズム遊びをすることで、上級生に親しみを持ち、小学校へ入学することへの安心感が高まるであろう。また、小学生は、歌やリズム遊びで幼児をリードすることにより、思いやりを持つとともに自分の成長に自信を持ち、幼児への関心を持つことができると考えられる。

### 5 事前の指導

○出し物の練習 始めの言葉・・・2名

司会の言葉・・・4名

音楽リズム4曲

終わりの言葉・・・2名

感想・・・3～4名

○ 準備 手作りペンダント（「ハッピーフレンズ」で使用）

○ 感想用紙



6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
10:35	1 体育館へ入場し席へ着く。 2 幼稚園・保育所入場し席へ着く。	○身近に感じるよう向かい合うようにする。  ○拍手で迎えるようにする。
10:40	3 先生の言葉（小学校） 4 司会のあいさつ・・・小学生代表 5 始めの言葉・・・小学生代表 6 3年生の歌「ドレミの歌」 7 幼児も一緒にドレミ体操	○話を最後までしっかり聞くようにする。  ○明るく元気に話すようにする。  ○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。 ○自信をもって、一生懸命に歌いながらリズム体操をするようにする。 ◇幼児と積極的に関わりながら、優しく思いやりを持って教えることができる。
10:55	8 リズム音遊び 「からだのたいこ」 9 みんなとリズムにのって歌おう 「ハッピーフレンズ」	○恥ずかしがらずに動作を大きくして踊る。 ◇幼児が安心して取り組めるよう、自分から進んで幼児とスキンシップをとりながら踊ることができる。
11:05	10 みんなで歌って遊ぼう 「ロンドン橋」  11 感想発表・・・幼児代表	◇幼児の手を引きながら、ゲームを楽しむことができる。  ○みんなに聞こえる声ではっきり話すようにする。
11:25	12 終わりの言葉・・・小学生代表	○お別れの挨拶をする。

## 第4学年 交流活動案

日時 平成19年6月19日(火)

場所 平方小体育館

指導者 平方小学校 坂本、金子、野坂、内田、飯野

平方幼稚園 大室、加藤、久川

西上尾第2保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【総合2時間】

### 1 交流活動名 「音楽交流会」

### 2 活動のねらい

- 小学生 自分から進んで幼稚園児や保育園児に声をかけたり、手をつないだりして思いやりの心をもってやさしく接することができる。
- 幼児5歳児 4年生の歌を聴いたり、一緒に触れ合って遊んだりして親しみの気持ちをもつ

### 3 幼児の実態

- ・ 「お誕生月集まれ」や「なべなべそこぬけ」のリズム遊びなどを幼稚園でも友達と楽しんでおり、触れ合って遊ぶことが好きである。
- ・ 年少のときに絵本の読み聞かせや昔遊び・クイズなど小学生との交流を経験しているので、小学生と遊ぶことに大きな期待を持っている。
- ・ 幼児同士では友達とのかかわりがふえ、自分の思いを伝えたり友達の話の聞いたりできるようになっている。

### 4 幼稚園・保育所との連携

幼児は、小学生に優しく接してもらったり、発表を見たりすることで、上級生に親しみ、あこがれを持つことができるであろう。また、小学生は、歌や合奏を披露してあげたり、幼児に喜んでもらったりすることで、幼い人に対する優しい心を育み、自信を持つことができる考える。

### 5 事前の指導

- 歌、合奏の練習・・・3曲
- 司会、言葉の指導・・・各クラス代表2名
- 音楽遊びの練習・・・2曲
- 幼児への接し方

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:35	1 始めの言葉（4年生代表）	○幼稚園児、保育園児に分かりやすい言葉で話すようにする。
9:45	2 校長先生の話	○目と耳を傾けてしっかり聞けるようにする。
10:00	3 4年生による歌、合唱披露 （かさじぞう、子どもの世界、とんび）	○隊形移動を素早く、静かに行い、それぞれのパートごとに合わせて演奏できるようにする。
	4 4年生、幼稚園児、保育園児によるゲーム交流（お誕生月集まれ、なべなべそこぬけ）	○4年生が幼稚園児、保育園児をリードできるように指導する。 ◇自分から進んで幼稚園児や保育園児とやさしく声をかけたり、手をつないだりすることができる。
10:15	5 終わりの言葉（4年生代表）	○幼稚園児、保育園児に分かりやすい言葉で話すようにする。

## 7 活動を終えて

- 幼稚園児や保育園児と同じ目線で接してあげられる児童が多かった。
- 年下の子どもに、自分から関わることで、年長者としての意識が芽生えてきた。
- 積極的に園児と関わり、おんぶや抱っこをしてくれたり、話しかけてくれたりする小学生もいて、子どもたちもそのことがとても嬉しかったと話していて、そういった関わりがあったことが、とても良かった。
- 幼児にとって、4年生はとても大きく、「かっこよかった」「足がすごく大きかった」等、一緒に関わるだけで色々感じたことがあったようなので、触れ合う機会がもててよかった。
- 幼稚園児や保育園児に進んで交流することができなかった児童が見受けられた。
- 「お誕生月集まれ」のリズムは、幼稚園と小学校で少しやり方が違っていて、戸惑っている小学生もいたので、事前に話し合えばよかった。
- 児童には、様々な交流活動を経験することで、接することができるように指導していきたい。
- 児童には、教師が声がけをすることで、成功体験をつまらせていきたい。
- 幼児は、自分たちの知っている「小さな世界」や「お誕生月集まれ」「なべなべそこぬけ」の曲やリズムを小学生と一緒にしたり、聞かせてもらったりすることが、より楽しいようだったので、そういったお互いに楽しめる曲やリズムをするのもいいと思った。

## 第4学年 交流活動案

日時 平成19年11月22日(木)

場所 4-1 3階多目的室

4-2 2階多目的室

4-3 教室

指導者 平方小学校 坂本、金子、野坂

平方幼稚園 大室、加藤、久川

西上尾第2保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【国語3時間】

### 1 交流活動名 「読み聞かせ」

### 2 活動のねらい

- 小学生
  - ・幼児にわかりやすく本を読むことができる。
  - ・幼児に思いやりの心をもって、優しく接することができる。
- 幼児5歳児
  - ・小学生とのかかわりの中で、自分の思ったことや感謝の気持ちを相手に伝えるように言葉で伝える。
  - ・小学生が読んでくれる絵本をじっくり聞き、お話の世界を楽しむ。

### 3 幼児の実態

- ・降園時に教師が読む絵本や紙芝居をとっても楽しみにしており、長い物語や読み聞かせなども集中して聞くことができるようになってきている。
- ・週一回の絵本の貸し出しでは、ぐりとぐら・バーバーパパなど好きなシリーズを楽しみに借りていく姿が見られる。

### 4 幼稚園・保育所との連携

幼児は、小学生に優しく接してもらったり、読み聞かせを聞いたりすることで、上級生に親しみ、あこがれを持つことができるであろう。また、小学生は、読み聞かせや手遊びを披露して、幼児に喜んでもらったりすることで、幼い人に対する優しい心を育み、自信を持つことができると思う。

### 5 事前の指導

- 読み聞かせの練習・指導
- 手遊びの練習・指導
- 幼児への接し方

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:35	1 始めの言葉	
9:37	2 4年生、幼稚園児、保育園児による自己紹介・手遊び交流（班ごと）	○4年生が幼稚園児、保育園児の緊張をほぐすために楽しませることができるように指導する。
9:45	3 4年生による読み聞かせの披露（班ごと）	○幼稚園児、保育園児にはっきりゆっくり分かりやすく読むようにする。
10:05	4 感想交流	○目と耳を傾けてしっかり感想を交流できるようにする。
10:13	5 終わりの言葉	◇幼児にわかりやすく本を読んだり、思いやりの心をもって、優しく接したりすることができる。

## 7 活動を終えて

- 幼稚園児や保育園児の反応を見ながら読み聞かせや手遊びをしていた。
- 年下の子どもを思いやる気持ちや態度がたくさん出ていた。
- 4年生が本を一生懸命読み、幼稚園児や保育園児も真剣に聞いていた。
- グループ（4～5人の班につき、3人の幼稚園児や保育園児）で活動したことで、一人一人が自覚をもって取り組むことができた。
- 他教科と連携をとりながら、事前指導の時間を生み出す工夫をしていきたい。
- 幼稚園児や保育園児にわかりやすく本を読むことができなかった児童が見受けられた。
- 教師が声がけをすることで、成功体験をつまらせていきたい。

## 第4学年 交流活動案

日時 平成19年2月12日(木)

場所 4-1 3階多目的室

4-2 多目的室

4-3 教室

指導者 平方小学校 坂本、金子、野坂

平方幼稚園 大室、加藤、久川

西上尾第2保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【国語3時間】

### 1 交流活動名 「言葉遊び」

### 2 活動のねらい

- 小学生
  - ・ 幼児に詩や言葉をわかりやすく教え、一緒に楽しむことができる。
  - ・ 幼児に思いやりの心をもって、優しく接することができる。
  
- 幼児5歳児
  - ・ 言葉のリズムややりとりのおもしろさに気づき、遊びを楽しむ。
  - ・ 4年生の話を聞いたり自分の思いを伝えたりして関わって遊ぶ。

### 3 幼児の実態

- ・ 正月遊びや郵便屋さんごっこで、文字や数、言葉を取り入れて遊び、興味をもって書いたり、読んだりしている。
- ・ しりとりや言葉集めなどに興味をもち、教師や友達と喜んで遊んでいる。

### 4 幼稚園・保育所との連携

幼児は、小学生に優しく接してもらったり、詩や言葉遊びを聞いたりすることで、上級生に親しみ、あこがれを持つことができるであろう。また、小学生は、詩や言葉遊びを披露して、幼児に喜んでもらったりすることで、幼い人に対する優しい心を育み、自信を持つことができると思う。

### 5 事前の指導

- 詩や言葉遊びの練習・指導
- 詩や言葉遊びの選択
- 幼児への接し方

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
9:35	1 始めの言葉	
9:37	2 4年生、幼稚園児、保育園児による詩や言葉遊びの交流（班ごと）	○幼稚園児、保育園児に分かりやすく読んだり、交流したりできるようにする。 ○目と耳を傾けてしっかり感想を交流できるようにする。
9:45	3 感想交流	◇幼児に詩や言葉をわかりやすく教え、一緒に楽しむことができる。
10:05	4 終わりの言葉	◇幼児に思いやりの心をもって、優しく接することができる。
10:13		

## 第5学年 交流活動案

日時 平成19年7月17日(火)

場所 体育館

指導者 平方小学校 高橋、赤木、小高

平方幼稚園 大室、加藤、久川

西上尾第2保育所

新井、氏家、板垣

教科時数内訳【図工8時間・学級活動1時間】

### 1 交流活動名 「パズルで遊ぼう」

### 2 活動のねらい

○小学生・幼児にパズルの遊び方を分かりやすく教えることができる。

・幼児に優しく話しかけたり遊んだりしながら、思いやりのある気持ちで接することができる。

○幼児 ・5年生の作ったパズルで話したり、教えてもらったりして触れ合いを楽しむ。

### 3 幼児の実態

○自分の気持ちや考えを相手に伝えられる幼児と、初対面の人に対して自分の気持ちを伝えられず黙ってしまう幼児がいる。

○1つの遊びに集中して取り組める幼児が多くなってきたが、まだ集中が続かずにあきってしまったたり、できないことをすぐにあきらめてしまう幼児もいる。

○交流会は3回目なので、小学生と交流できることをすごく楽しみにし、期待をもっている。

### 4 幼稚園・保育所との連携

幼児は、小学生に優しく接してもらったり、一緒に遊んだりすることで、上級生に親しみをもつことができるであろう。また、小学生は、パズルのやり方を分かりやすい言葉で伝えたり、楽しく遊んだりすることで、思いやりの気持ちをもち、優しく接することができると思う。

### 5 事前の指導

○始めの会・終わりの会の練習 各クラス代表1名

○グループ分け 各クラス4グループ

○遊び方の練習

### 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
10:15	1 席に着く。	
10:20	2 始めの会	○みんなに聞こえるようにはっきり話す。



		①始めの言葉 ②校長先生のお話 ③パズルの説明	○話を最後までしっかり聞くようにする。
10:25	3	グループ作り	○お互いにあいさつをして、輪になるようにさせる。 ◇自分から進んで幼児に優しく声をかけることができる。
10:30	4	パズルで遊ぶ	○パズルのやり方を優しく教えることができるようにする。 ◇楽しく遊んだり、幼児をほめたりできる。
10:55	5	後片づけをして席に着く。	○協力して片付けをする。 ◇優しい声かけをしながら、片付けをし、席まで送っていくことができる。
11:00	6	終わりの会 ①感想発表 ②終わりの言葉	○感想を交えながら、はっきり話すようにする。
	7	さようならの挨拶をして、見送りを する。	○お別れの挨拶をする。

#### 7 活動を終えて

- 一緒に遊ぶことで、親しみが増し、交流が深まった。
- 2人組や3人組にしたので、パズルが教えやすく、幼児が分かりやすかった。
- 自分達で作った物を幼児が楽しく遊んでくれたので、5年生は満足していた。
- 楽しく過ごせたことで、給食交流に向けて、意欲が高まった。
- じっくりパズルに取り組めていてよかった。
- 事前の時間があまりとれなかったため、その場でグループを組んでしまったので、名簿の交換をしておくよかった。
- パズルにすぐ目がいってしまって、自己紹介が疎かになってしまった。

## 第5学年 学級活動(就学児給食体験) 指導案

日時 平成20年1月21日(月)

児童数 88名 幼児数 64名

場所 5年全学級教室

家庭科室(5-1・エンゼル)

ランチルーム(5-2・ぞう)

第一会議室(5-3・くま)

指導者 平方小学校 高橋、赤木、小高

平方幼稚園 大室、加藤、久川

西上尾第2保育所 新井、氏家、板垣

教科時数内訳【学級活動2時間】

### 1 活動名 「幼稚園・保育園と給食交流をしよう」

### 2 活動のねらい

○小学生・幼児に給食の仕方を分かりやすく教えることができる。

・幼児への思いやりの気持ちをもって、優しく接することができる。

○幼児 ・5年生に教わったり、一緒に食べたりし、給食の雰囲気を楽しみ、小学校への期待をもつ。

### 3 幼児の実態

○決められた時間内に食べ終わるように意識し、嫌いなものでも食べようとする気持ちが育っている。

○給食をととても楽しみにしている。

### 4 幼稚園・保育所との連携

幼稚園・保育所の園児に給食の配膳の仕方やマナーや片付けの仕方などを分かりやすい言葉で伝えたり、楽しく会食したり、簡単なゲーム等を一緒にやって思いやりの気持ちをもって優しく接する場としたい。

### 5 事前の指導

○始めの会・終わりの会の練習をする。

○グループ分けをする。各クラス6グループ

○遊び方の練習をする。

○幼児は名札を用意する。

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導・活動のポイント ◇評価のポイント
11:50	1 それぞれの活動場所へ移動する。	○各グループ代表1人が迎えに行く。
12:00	2 配膳の準備をする。 席を決める。 自己紹介をする。	○園児の名前を呼び、手をつないで席へ連れて行く。 ○自己紹介をし合い、名前呼び合えるようにする。
12:10	3 配膳をする。	○5年生が付き添って、園児の給食をもらい、席に運ぶ。 ◇配膳の仕方を分かりやすく教えることができる。
12:20	4 楽しく会食する。	○マナーを守り、楽しい会食になるよう5年生が上手にリードできるようにする。 ◇園児の気持ちを考えて、楽しい会話ができる。
12:55	5 片付けをする。	○一緒に教えながら給食の片付けをする。 ◇優しい言葉や態度で教えることができる。
13:05	6 楽しく交流する。	○グループごとに簡単な遊びをし、楽しく過ごす。 ◇園児に優しく遊びを教えることができる。
13:20	7 さようならの挨拶をして、見送りをする。	○手をつないで、園児を集合場所まで連れて行く。

# 第6学年 交流活動

平成19年11月9日(金)

場所 平方幼稚園園庭

指導者 平方小学校 鈴木、小西、吉田

平方幼稚園 大室、加藤、久川

教科時数内訳 【総合1時間】

## 1 交流活動名 平方動物園

## 2 活動のねらい

- 小学生 ・ 幼児の発表を聞いたり、クイズに答えたりして動物園を楽しむ。
  - ・ 幼児の発表の良さを見つけ、ほめたりやさしい言葉かけをしたりするなど思いやりのある気持ちで接することができる。
- 幼児 ・ 小学生に発表し、認められることで自信が持てる。

## 3 幼児の実態

- 動物園で見たことや自分の知っていることを友達に伝えたり、友達の思いを聞いたりしながら、自分たちで協力して進めようとする姿が見られた。思いを受け止めてもらったことを喜んで、自信を持ったり、相手の思いも受け入れたりしようとする姿が多く見られた。
- 年少さんや小学生のお兄さん、お姉さんに見せたいという自分の気持ちを言葉にして表現する幼児が増えてきた。喜んで来てもらえるように招待状を作ったり、クイズを考えたりと友達と工夫して作る姿が見られた。

## 4 幼稚園との連携

幼児は、小学校の最高学年である6年生に対して発表し、あたたかい言葉をもらうことで、自分たちの活動に自信を持つことができるであろう。また、小学生は自分たちの入学前を思い出し、あたたかく接することで思いやりの心を育むことができるであろう。

## 5 事前の指導

- 各クラス、個人で招待状をいただく。(前日10:40~)
  - 目線を合わせて、各自お礼の言葉を述べる。
- 幼稚園側との打ち合わせを行い、平方動物園にいる動物を確認する。(10頭)
- 幼稚園内での態度、園児に対する言葉かけを確認する。
  - 会話をする。工夫しているところをほめる。

## 6 当日の流れ

時間	活動の流れ	○指導のポイント ◇評価のポイント
11:00	幼稚園を訪問する。 (1組→2組→3組)	○プール側の門から入るようにする。 ○幼稚園児が受付を行うので、時間差で訪問する。
11:05	招待状とスタンプカードを交換して、園内を見学する。	○各クラスグループで、空いているところから見学をする。 ◇園児からの問題に答えたり、小学生の側から園児に質問したりして、動物園を楽しむ。 ◇あいさつをしたり、発表をほめたりするなど、思いやりの心を持って接するようにする。
11:40	お礼の会を行う。 ・小学生の感想(2~3名) ・幼稚園児の感想 ・園長先生のお話 ・握手をして退場	○6年担任の司会進行で、会を行う。 ◇感想発表に対し、あたたかい拍手でこたえるようにする。

## 7 活動を終えて

- 園児の態度がすばらしく、自信を持って活動している姿が見られた。
- 動物が上手にできていて、時間をかけて制作をした努力が伝わってきた。
- BGMが臨場感を出していて、本当の動物園にいるようだった。
- 6年生としての自覚を持って、園児に対する言葉かけができていた。
- 動物園の様子を思い出しながら、招待ありがとうの気持ちをまとめることができた。
- 事前に打ち合わせを行っていたので、当日の進行がスムーズにできた。

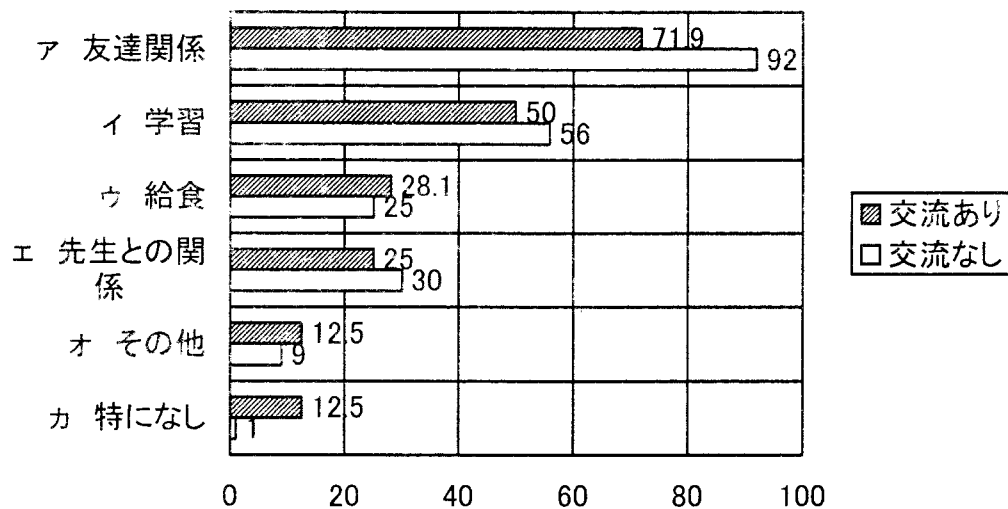
# 調査統計部

幼・保・小連携に関するアンケート調査結果と報告（平成19年6月実施・保護者配布版）

## 幼・保・小連携に関するアンケート結果のお知らせ

平方小学校では、幼児期から児童期への滑らかな接続を図るため、幼・保・小連携事業に取り組んでいます。それにつきまして、1学期中に、平方小学校の1年保護者の方々に、「幼・保・小連携に関するアンケートのお願い」という意識調査のアンケートを実施致しました。ご協力いただいた意識調査の結果は、次の通りとなっています。（小学校就学前の経歴で、平方幼稚園と西上尾第二保育所に通われていた方は「交流あり（31人）」、それ以外の幼稚園や保育所に通われていた方は「交流なし（56人）」で統計を出してあります。）

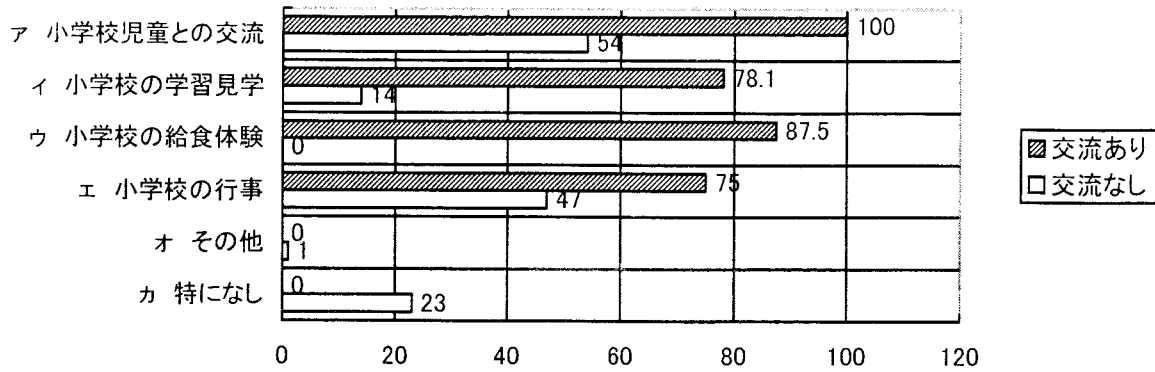
- (1) お子様の小学校入学にあたり、保護者として不安なことはどんなことでしたか。  
(複数回答可)



### ◇調査結果の考察

- 「ア友達関係」が二者（交流あり、交流なし）とも一番多くなっている。
  - ・小学校という初めての環境での人間関係が懸念されている。
  - ・コミュニケーションがとれない子が増えてきていると思われる。
  - ・交流なしがとりわけ数値が大きいのは、知っている子がいないことや新しい友達を作れるかどうかということに心配しているからであると考えられる。
- 「ウ給食」において、「交流あり」の方が高く、逆に「交流なし」の方が低くなっている。
  - ・昨年度に給食体験の交流をもったことで、どのように配膳をするのかが分かり、給食の見通しがついたが、仕事を分担したり給食着の脱ぎ着や準備を一人でできるかどうかを心配していると考えられる。
  - ・好き・嫌い等の給食内容で心配している傾向も考えられる。
- 「オその他」における特記事項としては、「朝の支度」「通学時間が長い」「歩くのが遅い」「言葉遣い」「先生の指導法」が挙げられていた。

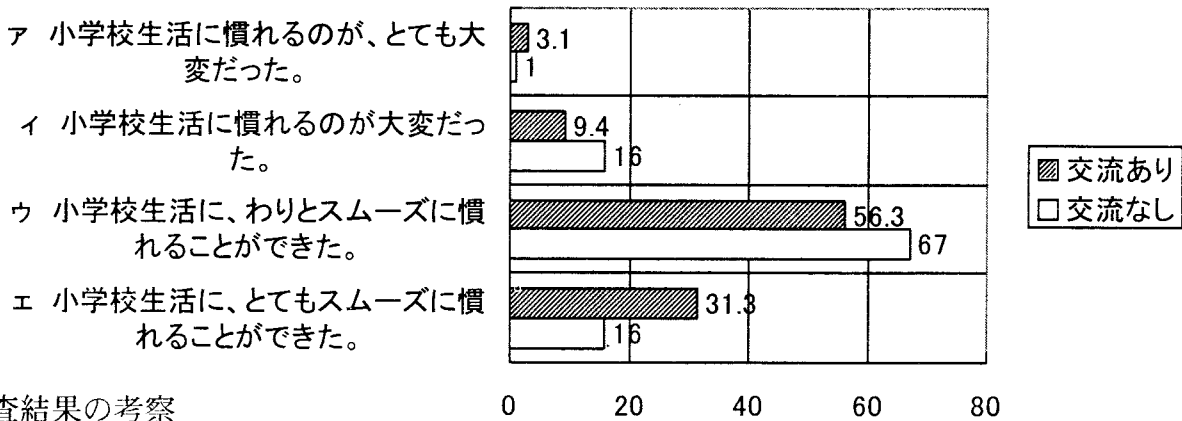
(2) お子様は、入学前に以下の内容の経験はありましたか。(複数回答可)



◇調査結果の考察

- 「ア小学校児童との交流」において「交流あり」が 100%であるのに対して、「交流なし」が 54%と約半分の割合となっている。
  - ・「交流なし」は、入学前に小学校児童と接する機会のない子もいることが明らかになった。
  - ・家のまわり等でも、小学校児童と遊んだりふれ合ったりする機会が無くなってきているようだ。
- 「ウ給食体験」において、「交流なし」の場合は、入学するまでに給食体験をしている子がいない。
  - ・交流活動に「給食体験」が行われているので、「交流あり」は、ある程度の見通しの中で、給食が行えるが、逆に体験しているがゆえに不安が多いことも考えられる。

(3) 入学当初、お子様の小学校生活への適応の様子はいかがでしたか。



◇調査結果の考察

- 二者共に、「ウ小学校生活に、わりとスムーズに慣れることができた」が一番多い。
  - ・幼・保において、入学前に園内でしっかり集団生活の基本を身につけている実態がある。
- 「交流あり」は、「エ小学校生活に、とてもスムーズに慣れることができた」が、「交流なし」の二倍の数値となっている。
  - ・交流活動を体験したことにより、小学校における学校生活の流れを、ある程度把握することができ、異学年の小学校児童の知り合いがいたことでスムーズに慣れることができたと考えられる。

(4) 交流学习等を経験して、お子様の様子で気づいた点について、自由にお書きください。

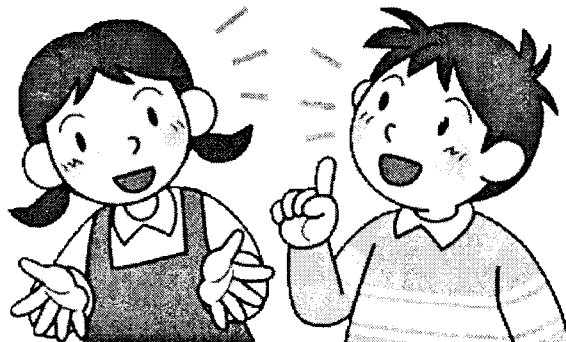
<交流あり>

- ・緊張が少なかった。
- ・学校がこういうところだとわかってよかった。スムーズにとけ込めた。
- ・上級生と関わり喜んでた。
- ・教師と関わってよかった。
- ・表現力や感情に幅が広がった。
- ・入学を楽しみにしているようだった。
- ・楽しそうだった。
- ・異学年の友人ができた。
- ・校長・教員がよくしてくれて心強い。
- ・小学校生活に対し前向きな考えを持てた。
- ・小学校生活に「不安」を感じていたのが、交流を通して「楽しみ」や「期待」に変わった。
- ・子どもの交流も大切だが、先生との交流も子どもにとって左右されると思う。
- ・小2のお姉さんに優しくしてもらったのが印象的だったようで、自分も幼稚園児に優しくしてあげたいと言っていたので良い経験だったと思う。
- ・小と幼が同じ敷地内にある環境が素晴らしいと思う。
- ・上級生に知り合いができ、声をかけてもらえることが嬉しい様子であった。
- ・先生方が幼稚園に来ることで先生に対する緊張感がなくなったように感じる。

<交流なし>

- ・養護学校との交流はあるのか。今後、検討してほしい。  
※障害のある子と接することで、優しい心が育まれる。とても大切なことだと思う。
- ・決まった園だけでなく、来年度入学予定の園児全員を対象にしてほしい。入学予定の園児全員に活動参加の案内があれば公平だと思う。
- ・他の幼稚園等を卒園した子や保護者にとっては、疎外感のように感じる。  
※上尾市全体が、近隣の幼稚園・保育所・小学校で連携が進むことを願い、研究を進めている。

ご協力頂いた保護者の皆様、ありがとうございました。これらのアンケート結果を基にして、今後の幼保小連携事業に取り組んでいきます。





## 交流活動・交換経験研修を振り返って（感想の分析）

### 1 プール参観（小学校→幼稚園）

- 一斉指導よりも個別の声かけを重視していた。
- 小学校の教員に、幼稚園の子どもが親しんでいた。
- 幼稚園児は、予想外に泳力があり、楽しんでいる様子がみられた。園内のプールでの様子ではどのくらい泳げるかが分からなかったが、小学校のプールでは泳力がよく見えた。
- 話の聞き方が上手で、指示がよく通る。
- 子どもが集中するまで待つ時間があり、感心した。
- 自由時間になっても自由に遊ばず、復習をする姿に感心した。
- ◆広いプールで不安を感じたのか、一部の子は自由に遊ぶことができなかった。

### 2 運動会（幼児徒競争）

- 上級生が一生懸命に首にメダルを掛けてあげていた。
- 園児は小学校に親しみを持っていたようだった。
- 幼児達は笑顔を見せて嬉しかったようだった。
- 商品を渡す児童がはりきっていた。
- ◆レースの間隔が短かったので、声がけまではできていなかった。
- ◆交流としての意味は感じなかった。
- ◆不特定多数の参加だったので、就学児童に絞れると良いのではないか。

### 3 チャレンジ集会（幼稚園・保育所→小学校）

- 小学校の児童が手本を見せて、それを見ながら園児が挑戦するという種目もあり、かかわりがもてた。
- 6年生が幼児の大きさに合わせて挑戦する道具のサイズを選んであげていて良かった。
- 幼児が成功すると、児童が拍手するなど関わる姿が見られた。
- 幼児が来ると、児童が緊張する場面が見られた。児童の平常とは違う姿を見ることができ、良かった。
- 幼児が好奇心いっぱい楽しくチャレンジした。「難しいよ。」という「だからチャレンジするんでしょう。」と純粋に楽しんでいた。
- 交流は少なかったが、児童が幼児に優しく挨拶したり、上級生が全体の運営をスムーズに進めようとしている姿を幼児が見たりすることで、いい刺激になった。
- 幼児達は、大きな小学生のなかでも学校という場に慣れてきているため、十分に楽しむことができた。
- 「僕は2こ入った。」などうれしかったことを小学校の先生に話しかける様子もあり、慣れてきて関わりをもてるようになってきた。
- ◆引率の先生が幼児への指示を全部してしまっていたので、幼児と児童のかかわりという面では課題が残った。
- ◆一緒に何かするという活動ではないので、交流が限られてしまう。児童の中から「お世話係」をつけるなど、関わりを持てるようにしてみてもどうか。
- ◆出来上がった行事に参加しているので、交流になっていない。交流させるのであれば事前の打ち合

わせが必要だが、時間帯の違いで無理がある。

- ◆どこかの学年と兄弟姉妹グループを作ってみてはどうか。
- ◆幼稚園と保育所で交流してみることで、幼児の姿がはっきり見えてくるのではないか。
- ◆小学生や、小学校の先生に対して、幼児が自分から「ありがとう。」「お願いします。」「こんにちは。」などの言葉が出なかった。身近な人や慣れているだけでなく、誰に対しても自分からそういった言葉が出せるように指導していく必要がある。

#### 4 平方小運動会に参加した平方幼稚園児（年長）

- 小学校の校庭で走ることが経験できたことで、「来年は自分たちもここで運動会をやるんだ。」という気持ちをもった幼児が多かった。
- お兄さん・お姉さん達の様子が見られて、小学生の足の速さや迫力に感動していた。

#### 5 平方小持久走大会を見学した平方幼稚園児（年長・年少）

- 年長児は一年生とペアになり、虫探し・落ち葉拾いを一緒に楽しんだ経験の後だったので、一年生が走っている時には「僕と手をつないでる子だっ!!」「○○ちゃんが走ってたよ」とペアの子を探したり、一生懸命応援したりし、昨年まで応援に行っていた時よりも、こども達も親しみを持って応援することが出来たように感じた。
- ◆小学生のコースの邪魔になってしまったりし、どこで応援するといいのか事前に確認をしておけば良かったと感じた。

#### 6 職員間の交換保育体験（小学校職員→幼稚園・保育所へ）

##### (1) 子どもの実態について

- 年長さんは数が数えられており（算数の基礎）、ゲームの回数なども把握していた。また、子ども同士で本の内容を説明し合っている姿も見られた。遊びを通して基礎を学び、表現力や思いやりが自然と育っていくように思えた。
- 行儀が大変よく、洋服も自分できちんとたためていた。
- 幼稚園では、子どもたちが包丁を使っていたことに驚いた。
- 保育所では役割分担がしっかりできており、掃除も自分たちで行っていた。
- 曲がかかるとすぐに体を動かし、自分から踊り出す。
- 保育所では、半数以上が鉄棒や跳び箱ができていた。
- 保育所は、会話や行動が小さな大人社会で、幼稚園にはないような衝突が見られる。しかし、喧嘩やもめ事が起きた時に、周囲の子どもが子ども同士で収める姿が見られた。
- ◆とても素直なので、思ったことをすぐに口にしてしまうようだ。
- ◆年長さんと年少さんの伝え合いが、言葉でできていないようだった。

##### (2) 指導について

- 廃材集めが参考になった。材料（環境）を教員が集めておき、環境を整えてあげると、アイデアが生まれるのかも知れない。
- 保育園では、自分のことは自分でさせるという方針が随所に見られた。対して、幼稚園では、子どもたちの活動において、教師が周到に準備を行っているという印象が残った。

- 小学校と比較して、時間に融通が利くように感じた。また、子ども同士のトラブルを解決する方法や躰の面で、時間をかけて落ち着いて取り組める点が小学校と大きく違うと感じた。
- 複数の目で安全面への配慮をしている。
- 単語ではなく、最後まできちんと話をさせている。伝え合う力を育てるには大切なことだと感じた。
- 保育園では、時間がかかっても最後まで給食を食べさせる指導をしていた。
- 幼稚園と比較すると、保育所では教師が介入せず見守ることが多いように感じた。

## 7 職員間の交換保育体験（幼稚園・保育所職員→小学校へ）

### (1) 子どもの実態について

- 自分の役割を理解しており、班ごとの清掃がきちんとできていた。
- 新しい友達との様子、授業態度が見られ、成長が感じられた。
- 国語の書き取りで、大きな字をしっかりと書けていたことに感心した。
- ◆1年生になって2ヶ月で字をしっかりと書けるようになっていた。一から覚える児童は大変だろうと思った。
- ◆聞く耳をもてない児童もいたので、これからは聞く耳をもてるように育てていきたいと思った。
- ◆給食のペースの早さを改めて感じた。残さず食べさせるためにも、時間を少しずつ小学校に近づけていかなければならないと思った。

### (2) 指導について

- 幼稚園で生活していた時との違いや、学習が進んでいく過程、幼稚園から小学校への移行時期の様子が分かったので、つながりを持たせるための参考になった。
- 1年生の授業の進め方、児童の集中の度合いが分かった。また、1学期にどの程度のことができるようにならなければいけないかが分かり、話を聞く姿勢、約束、友達との関わりなど、就学前に身につけておきたいことを考える機会となった。
- 歯ブラシの管理が保健室できちんとできていることに驚いた。
- プール指導では、約束事を児童にも言わせていたことが参考になった。また、じゃんけん遊びを早速保育所でも取り入れたところ、とても喜んでやっていた。
- ◆休み時間など、遊ぶ時間が少なく感じた。
- ◆道徳や図工の時間はどんな補助をしたらいいのか迷ってしまい、立ちつくしてしまった。

調査統計部 活動のまとめ (○成果と◆課題)

- 幼・保・小連携教育の成果について、小1保護者を対象に意識調査ができたことは、この事業を進めていく上で、大変参考になった。
- 幼・保・小各教育現場での教育の特色・子どもの実態が明らかになった。子どもの発達を理解する上で、大変重要であることに気づけた。
- ◆本年度は実態調査とその結果の公表にとどまってしまった。今後は、日常の教育活動に生かせるよう、年度当初の段階で配慮していきたい。
- ◆各教育機関がそれぞれの特長を理解した上で指導していくことが大切である。したがって、今後も交流事業を続けていきながら、教職員同士が互いを意識しながら教育活動を展開する必要があると感じた。